

レッツ原価管理Go! 仕訳伝票転記(OBC)機能追加・変更に伴う記載変更点

「レッツ原価管理Go!」をご利用くださいまして、誠にありがとうございます。

本マニュアルにリビジョンアップにより一部訂正・追加がございます。

ページ	機能	内容
全般		財務会計ソフトの選択を最新のものに変更しました。 ・勘定奉行21 ・建設奉行21 ・勘定奉行21[個別原価管理編] ・勘定奉行V10/V11 ・勘定奉行V10/V11[個別原価管理編] ・勘定奉行V10/V11[建設業編] ・勘定奉行i10/i11/クラウド ・勘定奉行i10/i11/クラウド[個別原価管理編] ・勘定奉行i10/i11/クラウド[建設業編] 給与奉行i10/クラウド OBC受入形式に対応しました。 勤怠項目6～10を追加しました。
4	■基本設定	<勘定奉行21、建設奉行21、勘定奉行21[個別原価管理編]を除く> 『□伝票部門にユーザー部門を出力する』オプションを追加しました。 チェックON=財務会計ソフトの伝票部門コードに、各伝票の最終登録者のユーザー部門を出力。
4	■基本設定	<勘定奉行V10/V11[個別原価管理編][建設業編]、 勘定奉行i10/i11/クラウド[個別原価管理編][建設業編]のみ> その他工事の変換コードが設定できるようになりました。
4	■基本設定	完成振替対象伝票に『□完成時に「課税仕」の消費税を原価に振替する』オプションを追加しました。 チェックON=通常転記時に計上した消費税を完成振替時に原価に振替する。 ※原価を伝票で入力している場合は「課税仕」で入力する ※対象科目分類は原価のみ
5	■税区分	税区分に「非売仕」「共売仕」を追加しました。 「非売仕」非課税売上分課税仕入 「共売仕」共通売上分課税仕入 ※平成23年度税制改正(95%ルールの見直し)に伴い、税区分を分ける場合に使用 ※この税区分はレッツ原価管理Go!の中では「課税」と同じに扱います 税区分に軽減税率対応項目を追加しました。
7	■得意先	「科目一括変更」ボタンを追加しました。
8	■仕入先	「科目一括変更」ボタンを追加しました。
9	■工種	(記載追加) (勘定奉行21・勘定奉行iの場合、この設定はありません)
9	■税率区分	出力内容の変更に伴い、税率区分の設定画面がなくなりました。
10	転記単位	転記単位に「仕入先別」「得意先別」を追加しました。
17	入力日付	工事情報出力に「入力日付」の絞込を追加しました。
21	転記履歴	転記済解除を実行した際に解除した履歴のNoを表示するようにしました。

●科目一括変更●

<概要>

転記設定の得意先・仕入先に「科目一括変更」ボタンを追加しました。

- ①転記設定の得意先又は仕入先画面にある「科目一括変更」ボタンをクリックします。

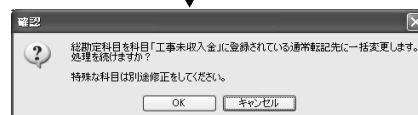
◆得意先の[科目一括変更]

総勘定科目を科目「工事未収入金」に登録されている通常転記先に一括変更します。

◆仕入先の[科目一括変更]

総勘定科目を科目「工事未払金」に登録されている通常転記先に一括変更します。

- ②右の確認画面が表示されます。一括変更を実行する場合は[OK]を選択して下さい。
特殊な科目は、手入力して下さい。



●勤怠項目6～10の追加●

<概要>

勤怠項目6～10を追加しました。
それに伴い、下記の箇所が変更になりました。

ページ	場所	誤	正
25	「給与奉行」への テキスト書出順	勤怠項目1～勤怠項目5	勤怠項目1～勤怠項目10
27	内容	勤怠項目1～5について	勤怠項目1～10について

●税区分●

<概要>

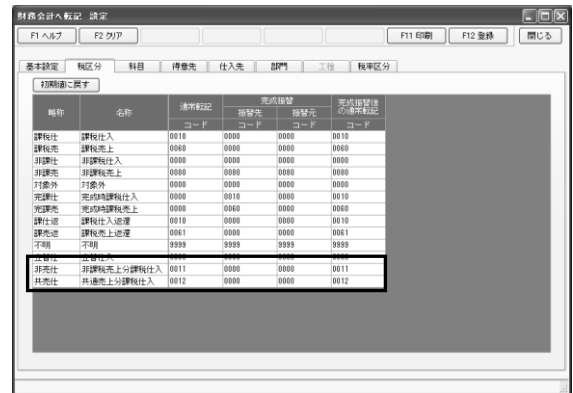
転記設定の税区分に「非売仕」「共売仕」を追加しました。

注意

設定内容は会計ソフトによって異なります。

<操作>

- ①アイコンメニュー「補助」→「仕訳伝票転記」
→「財務会計へ転記」→「転記設定」をクリックします。
- ②転記設定が表示されますので、「税区分」タブをクリックします。
- ③「非売仕」「共売仕」に初期値が設定されています。
会計ソフト側の内容を確認して、必要な場合は修正します。



●税率区分●

<勘定奉行21、建設奉行21、勘定奉行21[個別原価管理編]を除く>

<概要>

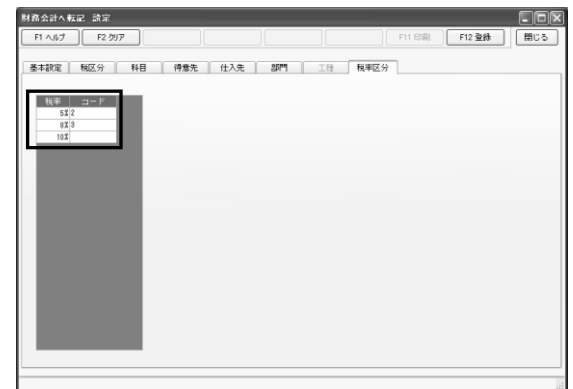
転記設定に「税率区分」を追加しました。

注意

設定内容は会計ソフトによって異なります。

<操作>

- ①アイコンメニュー「補助」→「仕訳伝票転記」
→「財務会計へ転記」→「転記設定」をクリックします。
- ②転記設定が表示されますので、「税率区分」タブをクリックします。
- ③「5%」「8%」「10%」に初期値が設定されています。
会計ソフト側の内容を確認して、必要な場合は修正します。



勘定奉行V10/V11・勘定奉行V10/V11[個別原価管理編]・勘定奉行V10/V11[建設業編]
勘定奉行i10/i11・勘定奉行i10/i11/クラウド[個別原価管理編]
勘定奉行i10/i11/クラウド[建設業編]

<概要>

勘定奉行V10/V11・勘定奉行V10/V11[個別原価管理編]・勘定奉行V10/V11[建設業編]・勘定奉行i10/i11
勘定奉行i10/i11/クラウド[個別原価管理編]・勘定奉行i10/i11/クラウド[建設業編]に対応しました。

【読込操作】

[随時処理]→[汎用データ受入]→[仕訳伝票データ受入]→[仕訳伝票データ受入]で行います。
一般的な設定は次の通りです。

●基本設定

伝票番号指定	データ上の番号を使用する
※「伝票No設定に従う」を選択すると付番方法は奉行の[システム自動付番]の設定に従います。	
ONの場合:奉行ソフトの設定に従います。	
OFFの場合:レッツ原価管理Go!の伝票番号を付番します。	

●受入ファイル設定

受入データ形式	OBC受入形式
受入元ファイル名	レッツ原価管理Go!で書き出したファイル名を指定する(例:D:¥SIWAKE.TXT)

●エラー情報設定

エラー表示	データに不正があった場合に、その都度表示する(チェックON)
-------	--------------------------------

給与奉行i10/i11

<概要>

給与奉行i10/i11 OBC受入形式に対応しました。

【読込操作】

[随時処理]→[汎用データ受入]→[給与賞与データ受入]→[給与データ受入]で行います。
一般的な設定は次の通りです。

●基本設定

給与処理月	受け入れるデータの月を選択する
-------	-----------------

●受入ファイル設定

受入データ形式	OBC受入形式
受入元ファイル名	レッツ原価管理Go!で書き出したファイル名を指定する(例:D:¥SIWAKE.TXT)

●エラー情報設定

エラー表示	データに不正があった場合に、その都度表示する(チェックON)
-------	--------------------------------

B-4 勘定奉行V10/V11

順	項目名	桁数 (半角)	型	通常転記	完成振替
1	伝票区切	1	文字	●伝票の先頭行のみ「*」、2行目以降空白 ※ただし先頭行の「*」は「」で囲まない	●伝票の先頭行のみ「*」、2行目以降空白 ※ただし先頭行の「*」は「」で囲まない
2	伝票区分コード	2	数字	●空白(通常伝票)	●空白(通常伝票)
3	用途区分	1	数字	●「0」を出力(振替伝票)	●「0」を出力(振替伝票)
4	部門指定方法	1	数字	●「1」を出力(勘定科目単位)	●「1」を出力(勘定科目単位)
5	伝票部門コード	15	文字	●空白	●空白
6	日付	11	文字	●西暦で出力 出力例)西暦:20110101 ●明細転記:伝票日付を出力 ●合計転記:集計期間の終了日を出力 ●「同一日付指定」の場合はその日付を出力	●西暦で出力 出力例)西暦:20110101 ●工事の完成日(工事登録の「進捗」日付)を出力 ●「同一日付指定」の場合はその日付を出力
7	整理区分	1	数字	●「0」を出力(日常仕訳)	●「0」を出力(日常仕訳)
8	伝票No	15	数字	●「書出順」の指定に従う ●転記のつど「伝票番号」に入力した数字から昇順に出力 ●仕入>支払>査定作成>売上>入金>入金振替伝票の順で付番 ●「転記単位」設定が「工事別仕入先(得意先)毎」の場合は、伝票種類>工事>仕入先(得意先)>科目>部門(ヘッダー)>部門(明細)>工種>税区分ごとに集計して付番 ●250行を超えた行から別の伝票を作成する ●分割した伝票の伝票番号は同じ番号を付ける ※伝票番号は重複可	●転記のつど「伝票番号」に入力した数字から昇順に出力 ●原価科目>売上科目の順で付番 ●工事毎に工事コード昇順で付番 ●250行を超えた行から別の伝票を作成する ●分割した伝票の伝票番号は同じ番号を付ける ※伝票番号は重複可
9	伝票入力形式	1	数字	●「0」を出力(通常入力)	●「0」を出力(通常入力)
10	借方部門コード	15	文字	●部門の転記先設定に従い出力 ●基本設定>通常転記「部門」の設定により出力 ・「損益科目のみ」 ○仕入伝票 損益科目のみ「伝票部門」を出力、他の科目は空白 ○支払伝票 空白 ○売上传票 空白 ○入金伝票 損益科目のみ「伝票部門」を出力、他の科目は空白 ○振替形式 「借方科目」が損益科目なら「伝票部門」を出力、他の科目は空白 ・「全科目」 ○仕入伝票 全科目に「伝票部門」を出力 ○支払伝票 「仕入先部門」を出力、「仕入先部門」がない場合は「伝票部門」を出力 ○売上传票 「得意先部門」を出力、「得意先部門」がない場合は「伝票部門」を出力 ○入金伝票 全科目に「伝票部門」を出力、振替形式「借方科目」の「伝票部門」を出力 ・「出力しない」 全伝票空白 ※伝票部門が未入力の場合は空白を出力 ※伝票計の消費税:伝票部門はなし ※仕入先(得意先)部門:伝票ヘッダー部の部門 ※伝票部門:伝票の各入力行の部門 ※損益科目:科目分類が「売上高」「原価」「販管費」「営業外収益」「営業外費用」「仮受消費税」「仮払消費税」の科目	●部門の転記先設定に従い出力 ●基本設定>通常転記「部門」の設定により出力 ・「損益科目のみ」:振替元の部門を出力 ・「全科目」:振替元の部門を出力 ・「出力しない」:空白

11	借方勘定科目コード	10	文字	<ul style="list-style-type: none"> ●科目、得意先、仕入先の転記先設定に従い出力 仕入伝票:「科目」の転記先 支払伝票:「仕入先」の通常転記先 売上傳票:「得意先」の通常転記先 入金伝票:「科目」の転記先 振替形式:「借方科目」の通常転記先 ●完成振替後は完成振替転記先を出力 ※通常転記先のみ設定している場合は通常転記先科目に転記 	<ul style="list-style-type: none"> ●科目の転記先設定に従い出力 原価科目:借方科目(完成振替転記先) 売上科目:貸方科目(通常転記先) ※借方科目:通常転記で借方に出力される科目(原価科目) 貸方科目:通常転記で貸方に出力される科目(売上科目)
12	借方補助科目コード	10	文字	<ul style="list-style-type: none"> ●科目、得意先、仕入先の転記先設定に従い出力 仕入伝票:「科目」の転記先 支払伝票:「仕入先」の通常転記先 売上傳票:「得意先」の通常転記先 入金伝票:「科目」の転記先 振替形式:「借方科目」の通常転記先 ●完成振替後は完成振替転記先を出力 ●転記先に補助科目がない場合は空白 	<ul style="list-style-type: none"> ●科目の転記先設定に従い出力 原価科目:借方科目(完成振替転記先) 売上科目:貸方科目(通常転記先) ●転記先に補助科目がない場合は空白
13	借方税区分コード	4	数字	<ul style="list-style-type: none"> ●税区分の転記先設定に従い出力 仕入伝票:「通常転記」の税区分 支払伝票:「対象外」 売上傳票:「対象外」 入金伝票:「通常転記」の税区分 振替形式:借方科目の税区分に応じた「通常転記」の税区分 ●外税伝票計の消費税:税区分は台帳「科目-消費税」の登録に従う 	<ul style="list-style-type: none"> ●税区分の転記先設定に従い出力 原価科目:「振替先」の税区分 売上科目:「振替元」の税区分
14	借方税率	2	数字	●伝票の消費税率を出力	●伝票の消費税率を出力
15	借方税率種別	1	数字	●伝票の税区分に従い出力 0:標準 1:軽減税率	●伝票の税区分に従い出力 0:標準 1:軽減税率
16	借方事業区分コード	4	数字	●空白	●空白
17	借方消費税計算	1	数字	<ul style="list-style-type: none"> ●経理方式「税抜」「税込」により下記出力 ・税抜経理 原価管理GO! の伝票税区分が内税:「2」 原価管理GO! の伝票税区分が明細単位:「1」 他:「0」 ・税込経理 前項で消費税金額を出力する行:「1」 他:「0」 	<ul style="list-style-type: none"> ●経理方式「税抜」「税込」に関わらず下記出力 前項で消費税金額を出力する行:「2」 他:「0」
18	借方端数処理	1	数字	●伝票の税端数を出力 0:切上げ1:四捨五入2:切捨て	●伝票の税端数を出力 0:切上げ1:四捨五入2:切捨て
19	借方取引先コード	13	文字	<ul style="list-style-type: none"> ●基本設定>「取引先コード」の設定に従う ○出力する 得意先、仕入先の転記先設定で登録された取引先コードを出力する コード登録がない場合は出力しない ○出力しない 出力しない ※「プロジェクトコード」がなくても登録可能 	●出力しない
20	借方セグメント1	20	文字	<ul style="list-style-type: none"> ●転記設定のセグメント1の内容に従う ・指定なし 空白 ・工事 ●環境設定の「工事コード桁数」、転記設定の「枝番を出力する」オプションに従う ・枝番を出力する:ON 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分(最大8桁)に「-」を追加し工事コード枝番2桁出力 ・枝番を出力する:OFF 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分出力 ●「入庫」:基本設定「入庫」で指定したコードで出力 ※個別原価管理編の科目属性にかかわらず工事出力可 ・工種 ●工種の転記先設定に従い出力 ●工種がない場合は空白 	<ul style="list-style-type: none"> ●転記設定のセグメント1の内容に従う ・指定なし 空白 ・工事 ●環境設定の「工事コード桁数」、転記設定の「枝番を出力する」オプションに従う ・枝番を出力する:ON 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分(最大8桁)に「-」を追加し工事コード枝番2桁出力 ・枝番を出力する:OFF 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分出力 ・工種 ●工種の転記先設定に従い出力 ●工種がない場合は空白
21	借方セグメント2	20	文字	●転記設定のセグメント2の内容に従う 出力内容はセグメント1と同じ	●転記設定のセグメント2の内容に従う 出力内容はセグメント1と同じ

22	借方本体金額	13	<p>数字 ●経理方式が「税抜」「税込」により税区分ごとに下記出力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税抜経理の場合 ○仕入伝票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 非課仕: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税込金額 課仕返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額 <p>(完成振替後の通常転記)</p> <ul style="list-style-type: none"> 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 非課仕: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税抜外税、税込内税 課仕返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額 <p>○支払伝票</p> <ul style="list-style-type: none"> 税込金額 <p>○売上傳票</p> <ul style="list-style-type: none"> 税込金額 <p>○入金伝票 (通常転記)</p> <ul style="list-style-type: none"> 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 非課仕: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税込金額 課仕返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 <p>(完成振替後の通常転記)</p> <ul style="list-style-type: none"> 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 非課仕: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税抜外税、税込内税 課仕返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 <p>○振替形式伝票の借方 (通常転記)</p> <ul style="list-style-type: none"> 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 課税売: 税抜外税、税込内税 非課仕: 税込金額 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税込金額 完課売: 税込金額 課仕返: 税抜外税、税込内税 課売返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額 <p>(完成振替後の通常転記)</p> <ul style="list-style-type: none"> 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 課税売: 税抜外税、税込内税 非課仕: 税込金額 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税抜外税、税込内税 完課売: 税抜外税、税込内税 課仕返: 税抜外税、税込内税 課売返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額 <p>・税込経理の場合 すべて「税込」で出力</p> <ul style="list-style-type: none"> ※税抜外税: 明細行が外税なら税抜金額で出力 ※税込内税: 明細行が内税なら税込金額で出力 	<p>●原価科目</p> <ul style="list-style-type: none"> 通常転記の借方金額を工事>科目(補助科目)>部門(明細)>税区分ごとに集計して出力 集計した借方金額を下記のとおり出力 <p>●売上科目</p> <ul style="list-style-type: none"> 通常転記の貸方金額を工事>科目(補助科目)>部門(明細)>税区分ごとに集計して出力 集計した貸方金額を下記のとおり出力 <p>・税抜経理の場合</p> <p>○原価科目</p> <ul style="list-style-type: none"> 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜金額 非課仕: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税込内税 課仕返: 税抜金額 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額 <p>○売上科目</p> <ul style="list-style-type: none"> 税区分 出力する金額 課税売: 税抜金額 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課売: 税込金額 課売返: 税抜金額 不明 : 税込金額+H171 <p>・税込経理の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 完課仕は「税込内税」、その他すべて「税込金額」 ※税区分「完課仕」「完課売」は、通常転記では対象外で出力されるが、完成振替では課税区分で振替される ※ 税区分「立替仕」は、原価管理GO! では課税区分として扱われるが通常転記、完成振替ともに対象外で出力される
----	--------	----	--	---

23	借方消費税金額	13	<p>数字 ●経理方式が「税抜」「税込」に関わらず税区分ごとに下記出力</p> <p>○仕入伝票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 非課仕:「0」 対象外:「0」 完課仕:「0」 課仕返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 非課仕:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 課仕返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」 ※「外税伝票計」は「0」(消費税は「金額」に出力される)</p> <p>○支払伝票 「0」</p> <p>○売上伝票 「0」</p> <p>○入金伝票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 非課仕:「0」 対象外:「0」 完課仕:「0」 課仕返:消費税金額 不明 :「0」</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 非課仕:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 課仕返:消費税金額 不明 :「0」</p> <p>○振替形式伝票の借方 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 課税売:消費税金額 非課仕:「0」 非課売:「0」 対象外:「0」 完課仕:「0」 完課売:「0」 課仕返:消費税金額 課売返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 課税売:消費税金額 非課仕:「0」 非課売:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 完課売:消費税金額</p> <p>課仕返:消費税金額 課売返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」</p>	<p>●原価科目 集計した通常転記の借方消費税を下記のとおり出力</p> <p>●売上科目 集計した通常転記の貸方消費税を下記のとおり出力</p> <p>・税抜経理の場合 ○原価科目 税区分 出力する金額 課税仕:「0」 非課仕:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 課仕返:「0」 不明 :「0」 立替仕:「0」</p> <p>○売上科目 「0」</p> <p>・税込経理の場合 ○原価科目 税区分 出力する金額 課税仕:「0」 非課仕:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 課仕返:「0」 不明 :「0」 立替仕:「0」</p> <p>○売上科目 「0」</p>
----	---------	----	--	---

24	貸方部門コード	15	文字	<p>●部門の転記先設定に従い出力 ●基本設定 > 通常転記「部門」の設定により出力 ・「損益科目のみ」 ○仕入伝票 空白 ○支払伝票 損益科目のみ「伝票部門」を出力、他の科目は空白 ○売上伝票 損益科目のみ「伝票部門」を出力、他の科目は空白 ○入金伝票 空白 ○振替形式 「貸方科目」が損益科目なら「伝票部門」を出力、他の科目は空白</p> <p>・「全科目」 ○仕入伝票 「仕入先部門」を出力、「仕入先部門」がない場合は「伝票部門」を出力 ○支払伝票 全科目に「伝票部門」を出力 ○売上伝票 全科目に「伝票部門」を出力 ○入金伝票 「得意先部門」を出力、「得意先部門」がない場合は「伝票部門」を出力 ○振替形式 「貸方科目」の「伝票部門」を出力</p> <p>・「出力しない」 全伝票空白</p> <p>※伝票部門が未入力の場合は空白を出力 ※伝票計の消費税:伝票部門はなし ※仕入先(得意先)部門:伝票ヘッダー部の部門 ※伝票部門:伝票の各入力行の部門 ※損益科目:科目分類が「売上高」「原価」「販管費」「営業外収益」「営業外費用」「仮受消費税」「仮払消費税」の科目</p>	<p>●部門の転記先設定に従い出力 ●基本設定 > 通常転記「部門」の設定により出力 ・「損益科目のみ」:振替元の部門を出力 ・「全科目」:振替元の部門を出力 ・「出力しない」:空白</p>
25	貸方勘定科目コード	10	文字	<p>●科目、得意先、仕入先の転記先設定に従い出力 仕入伝票:「仕入先」の転記先 支払伝票:「科目」の通常転記先 売上伝票:「科目」の通常転記先 入金伝票:「得意先」の転記先 振替形式:「貸方科目」の通常転記先 ●完成振替後は完成振替転記先を出力 ※通常転記先のみ設定している場合は通常転記先科目に転記</p>	<p>●科目の転記先設定に従い出力 原価科目:借方科目(通常転記先) 売上科目:貸方科目(完成振替転記先) ※借方科目:通常転記で借方に出力される科目(原価科目) 貸方科目:通常転記で貸方に出力される科目(売上科目)</p>
26	貸方補助科目コード	10	文字	<p>●科目、得意先、仕入先の転記先設定に従い出力 仕入伝票:「仕入先」の転記先 支払伝票:「科目」の通常転記先 売上伝票:「科目」の通常転記先 入金伝票:「得意先」の転記先 振替形式:「貸方科目」の通常転記先 ●完成振替後は完成振替転記先を出力 ●転記先に補助科目がない場合は空白</p>	<p>●科目の転記先設定に従い出力 原価科目:借方科目(通常転記先) 売上科目:貸方科目(完成振替転記先) ●転記先に補助科目がない場合は空白</p>
27	貸方税区分コード	4	数字	<p>●税区分の転記先設定に従い出力 仕入伝票:「対象外」 支払伝票:「通常転記」の税区分 売上伝票:「通常転記」の税区分 入金伝票:「対象外」 振替形式貸方:科目の税区分に応じた「通常転記」の税区分 ●外税伝票計の消費税:税区分は台帳「科目-消費税」の登録に従う</p>	<p>●税区分の転記先設定に従い出力 原価科目:「振替元」の税区分 売上科目:「振替先」の税区分</p>
28	貸方税率	2	数字	●伝票の消費税率を出力	●伝票の消費税率を出力
29	貸方税率種別	1	数字	●伝票の税区分に従い出力 0:標準 1:軽減税率	●伝票の税区分に従い出力 0:標準 1:軽減税率
30	貸方事業区分コード	4	数字	●空白	●空白
31	貸方消費税計算	1	数字	<p>●経理方式「税抜」「税込」により下記出力 ・税抜経理 原価管理GO! の伝票税区分が内税:「2」 原価管理GO! の伝票税区分が明細単位:「1」 他:「0」 ・税込経理 前項で消費税金額を出力する行:「1」 他:「0」</p>	<p>●経理方式「税抜」「税込」に関わらず下記出力 前項で消費税金額を出力する行:「1」 他:「0」</p>

32	貸方端数処理	1	数字	●伝票の税端数を出力 0:切上げ1:四捨五入2:切捨て	●伝票の税端数を出力 0:切上げ1:四捨五入2:切捨て
33	貸方取引先コード	13	文字	●基本設定>「取引先コード」の設定に従う ○出力する 得意先、仕入先の転記先設定で登録された取引先コードを出力する コード登録がない場合は出力しない ○出力しない 出力しない ※「プロジェクトコード」がなくても登録可能	●出力しない
34	貸方セグメント1	20	文字	●転記設定のセグメント1の内容に従う ・指定なし 空白 ・工事 ●環境設定の「工事コード桁数」、転記設定の「枝番を出力する」オプションに従う ・枝番を出力する:ON 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分(最大8桁)に「-」を追加し工事コード枝番2桁出力 ・枝番を出力する:OFF 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分出力 ●「入庫」:基本設定「入庫」で指定したコードで出力 ※個別原価管理編の科目属性にかかわらず工事出力可 ・工種 ●工種の転記先設定に従い出力 ●工種がない場合は空白	●転記設定のセグメント1の内容に従う ・指定なし 空白 ・工事 ●環境設定の「工事コード桁数」、転記設定の「枝番を出力する」オプションに従う ・枝番を出力する:ON 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分(最大8桁)に「-」を追加し工事コード枝番2桁出力 ・枝番を出力する:OFF 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分出力 ・工種 ●工種の転記先設定に従い出力 ●工種がない場合は空白
35	貸方セグメント2	20	文字	●転記設定のセグメント2の内容に従う 出力内容はセグメント1と同じ	●転記設定のセグメント2の内容に従う 出力内容はセグメント1と同じ
36	貸方本体金額	13	数字	●経理方式が「税抜」「税込」により税区分ごとに下記出力 ・税抜経理の場合 ○仕入伝票 税込金額 ○支払伝票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:税抜外税、税込内税 非課税:税込金額 対象外:税込金額 完課仕:税込金額 課税返:税抜外税、税込内税 不明 :税込金額 立替仕:税込金額 (完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:税抜外税、税込内税 非課税:税込金額 対象外:税込金額 完課仕:税抜外税、税込内税 課税返:税抜外税、税込内税 不明 :税込金額 立替仕:税込金額 ○売上傳票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税売:税抜外税、税込内税 非課売:税込金額	●原価科目 通常転記の借方金額を工事>科目(補助科目)>部門(明細)>税区分ごとに集計して出力 集計した貸方金額を下記のとおり出力 ●売上科目 通常転記の貸方金額を工事>科目(補助科目)>部門(明細)>税区分ごとに集計して出力 集計した貸方金額を下記のとおり出力 ・税抜経理の場合 ○原価科目 税区分 出力する金額 課税仕:税抜金額 非課税:税込金額 対象外:税込金額 完課仕:税込金額 課税返:税抜金額 不明 :税込金額 立替仕:税込金額 ○売上科目 税区分:出力する金額 課税売:税抜金額 非課売:税込金額 対象外:税込金額 完課売:税込金額 課税返:税抜金額 不明 :税込金額 ・税込経理の場合 完課売は「税込内税」、その他すべて「税込金額」

			<p>対象外: 税込金額 完課売: 税込金額 課売返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税売: 税抜外税、税込内税 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課売: 税抜外税、税込内税 課売返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額</p> <p>○入金伝票 税込金額</p> <p>○振替形式伝票の貸方 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 課税売: 税抜外税、税込内税 非課仕: 税込金額 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税込金額 完課売: 税込金額 課仕返: 税抜外税、税込内税 課売返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 課税売: 税抜外税、税込内税 非課仕: 税込金額 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税込金額 完課売: 税込金額 課仕返: 税抜外税、税込内税 課売返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額</p> <p>・税込経理の場合 すべて「税込」で出力 ※税抜外税: 明細行が外税なら税抜金額で出力 ※税込内税: 明細行が内税なら税込金額で出力</p>	<p>※税区分「完課仕」「完課売」は、通常転記では対象外で出力されるが、完成振替では課税区分で振替される ※ 税区分「立替仕」は、原価管理GO! では課税区分として扱われるが通常転記、完成振替ともに対象外で出力される</p>	
37	貸方消費税金額	13	数字	<p>●経理方式が「税抜」「税込」に関わらず税区分ごとに下記出力 ○仕入伝票 「0」</p> <p>○支払伝票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 消費税金額 非課仕: 「0」 対象外: 「0」 完課仕: 「0」 課仕返: 消費税金額 不明 : 「0」 立替仕: 「0」</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 消費税金額 非課仕: 「0」 対象外: 「0」 完課仕: 消費税金額 課仕返: 消費税金額 不明 : 「0」 立替仕: 「0」</p>	<p>●原価科目 集計した通常転記の借方消費税を下記のとおり出力 ●売上科目 集計した通常転記の貸方消費税を下記のとおり出力 ・税抜経理の場合 ○原価科目 「0」</p> <p>○売上科目 税区分 出力する金額 課税売: 「0」 非課売: 「0」 対象外: 「0」 完課売: 消費税金額 課売返: 「0」 不明 : 「0」</p> <p>・税込経理の場合 ○原価科目 「0」</p> <p>○売上科目 税区分 出力する金額 課税売: 「0」</p>

			<p>○売上傳票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税売:消費税金額 非課売:「0」 対象外:「0」 完課売:「0」 課売返:消費税金額 不明 :「0」</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税売:消費税金額 非課売:「0」 対象外:「0」 完課売:消費税金額 課売返:消費税金額 不明 :「0」 ※「外税伝票計」は「0」(消費税は「金額」に出力される)</p> <p>○入金伝票 「0」</p> <p>○振替形式伝票の貸方 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 課税売:消費税金額 非課仕:「0」 非課売:「0」 対象外:「0」 完課仕:「0」 完課売:「0」 課仕返:消費税金額 課売返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 課税売:消費税金額 非課仕:「0」 非課売:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 完課売:消費税金額 課仕返:消費税金額 課売返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」</p>	<p>非課売:「0」 対象外:「0」 完課売:消費税金額 課売返:「0」 不明:「0」</p>	
38	摘要	40	文字	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本設定>通常転記「摘要転記内容」の選択項目が転記される ● 各項目間には半角スペースが入る ● 合計転記も明細転記の設定に従うが、「伝票番号」「商品」「仕様」は出力しない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本設定>完成振替「摘要転記内容」の選択項目が転記される ● 各項目間には半角スペースが入る ● 40桁を超えた場合は「転記画面の伝票摘要」の文字数を少なく転記する

B-5

勘定奉行V10/V11[個別原価管理編]

順	項目名	桁数 (半角)	型	通常転記	完成振替
1	伝票区切	1	文字	●伝票の先頭行のみ「*」、2行目以降空白 ※ただし先頭行の「*」は「」で囲まない	●伝票の先頭行のみ「*」、2行目以降空白 ※ただし先頭行の「*」は「」で囲まない
2	伝票区分コード	2	数字	●空白(通常伝票)	●空白(通常伝票)
3	用途区分	1	数字	●「0」を出力(振替伝票)	●「0」を出力(振替伝票)
4	部門指定方法	1	数字	●「1」を出力(勘定科目単位)	●「1」を出力(勘定科目単位)
5	伝票部門コード	15	文字	●空白	●空白
6	日付	11	文字	●西暦で出力 出力例)西暦:20110101 ●明細転記:伝票日付を出力 ●合計転記:集計期間の終了日を出力 ●「同一日付指定」の場合はその日付を出力	●西暦で出力 出力例)西暦:20110101 ●工事の完成日(工事登録の「進捗」日付)を出力 ●「同一日付指定」の場合はその日付を出力
7	整理区分	1	数字	●「0」を出力(日常仕訳)	●「0」を出力(日常仕訳)
8	伝票No	15	数字	●「書出順」の指定に従う ●転記のつど「伝票番号」に入力した数字から昇順に出力 ●仕入>支払>査定作成>売上>入金>入金振替伝票の順で付番 ●「転記単位」設定が「工事別仕入先(得意先)毎」の場合は、伝票種類>工事>仕入先(得意先)>科目>部門(ヘッダー)>部門(明細)>工種>税区分ごとに集計して付番 ●250行を超えた行から別の伝票を作成する ●分割した伝票の伝票番号は同じ番号を付ける ※伝票番号は重複可	●転記のつど「伝票番号」に入力した数字から昇順に出力 ●原価科目>売上科目の順で付番 ●工事毎に工事コード昇順で付番 ●250行を超えた行から別の伝票を作成する ●分割した伝票の伝票番号は同じ番号を付ける ※伝票番号は重複可
9	伝票入力形式	1	数字	●「0」を出力(通常入力)	●「0」を出力(通常入力)
10	借方部門コード	15	文字	●部門の転記先設定に従い出力 ●基本設定>通常転記「部門」の設定により出力 ・「損益科目のみ」 ○仕入伝票 損益科目のみ「伝票部門」を出力、他の科目は空白 ○支払伝票 空白 ○売上传票 空白 ○入金伝票 損益科目のみ「伝票部門」を出力、他の科目は空白 ○振替形式 「借方科目」が損益科目なら「伝票部門」を出力、他の科目は空白 ・「全科目」 ○仕入伝票 全科目に「伝票部門」を出力 ○支払伝票 「仕入先部門」を出力、「仕入先部門」がない場合は「伝票部門」を出力 ○売上传票 「得意先部門」を出力、「得意先部門」がない場合は「伝票部門」を出力 ○入金伝票 全科目に「伝票部門」を出力、振替形式「借方科目」の「伝票部門」を出力 ・「出力しない」 全伝票空白 ※伝票部門が未入力の場合は空白を出力 ※伝票計の消費税:伝票部門はなし ※仕入先(得意先)部門:伝票ヘッダー部の部門 ※伝票部門:伝票の各入力行の部門 ※損益科目:科目分類が「売上高」「原価」「販管費」「営業外収益」「営業外費用」「仮受消費税」「仮払消費税」の科目	●部門の転記先設定に従い出力 ●基本設定>通常転記「部門」の設定により出力 ・「損益科目のみ」:振替元の部門を出力 ・「全科目」:振替元の部門を出力 ・「出力しない」:空白

11	借方勘定科目コード	10	文字	<ul style="list-style-type: none"> ●科目、得意先、仕入先の転記先設定に従い出力 仕入伝票:「科目」の転記先 支払伝票:「仕入先」の通常転記先 売上传票:「得意先」の通常転記先 入金伝票:「科目」の転記先 振替形式:「借方科目」の通常転記先 ●完成振替後は完成振替転記先を出力 ※通常転記先のみ設定している場合は通常転記先科目に転記 	<ul style="list-style-type: none"> ●科目の転記先設定に従い出力 原価科目:借方科目(完成振替転記先) 売上科目:貸方科目(通常転記先) ※借方科目:通常転記で借方に出力される科目(原価科目) 貸方科目:通常転記で貸方に出力される科目(売上科目)
12	借方補助科目コード	10	文字	<ul style="list-style-type: none"> ●科目、得意先、仕入先の転記先設定に従い出力 仕入伝票:「科目」の転記先 支払伝票:「仕入先」の通常転記先 売上传票:「得意先」の通常転記先 入金伝票:「科目」の転記先 振替形式:「借方科目」の通常転記先 ●完成振替後は完成振替転記先を出力 ●転記先に補助科目がない場合は空白 	<ul style="list-style-type: none"> ●科目の転記先設定に従い出力 原価科目:借方科目(完成振替転記先) 売上科目:貸方科目(通常転記先) ●転記先に補助科目がない場合は空白
13	借方税区分コード	4	数字	<ul style="list-style-type: none"> ●税区分の転記先設定に従い出力 仕入伝票:「通常転記」の税区分 支払伝票:「対象外」 売上传票:「対象外」 入金伝票:「通常転記」の税区分 振替形式:借方科目の税区分に応じた「通常転記」の税区分 ●外税伝票計の消費税:税区分は台帳「科目-消費税」の登録に従う 	<ul style="list-style-type: none"> ●税区分の転記先設定に従い出力 原価科目:「振替先」の税区分 売上科目:「振替元」の税区分
14	借方税率	2	数字	●伝票の消費税率を出力	●伝票の消費税率を出力
15	借方税率種別	1	数字	●伝票の税区分に従い出力 0:標準 1:軽減税率	●伝票の税区分に従い出力 0:標準 1:軽減税率
16	借方事業区分コード	4	数字	●空白	●空白
17	借方消費税計算	1	数字	<ul style="list-style-type: none"> ●経理方式「税抜」「税込」により下記出力 ・税抜経理 原価管理GO! の伝票税区分が内税:「2」 原価管理GO! の伝票税区分が明細単位:「1」 他:「0」 ・税込経理 前項で消費税金額を出力する行:「1」 他:「0」 	<ul style="list-style-type: none"> ●経理方式「税抜」「税込」に関わらず下記出力 前項で消費税金額を出力する行:「2」 他:「0」
18	借方端数処理	1	数字	●伝票の税端数を出力 0:切上げ1:四捨五入2:切捨て	●伝票の税端数を出力 0:切上げ1:四捨五入2:切捨て
19	借方取引先コード	13	文字	<ul style="list-style-type: none"> ●基本設定>「取引先コード」の設定に従う ○出力する 得意先、仕入先の転記先設定で登録された取引先コードを出力する コード登録がない場合は出力しない ○出力しない 出力しない ※「プロジェクトコード」がなくても登録可能 	●出力しない
20	借方プロジェクトコード	20	文字	<ul style="list-style-type: none"> ●環境設定の「工事コード桁数」、転記設定の「枝番を出力する」オプションに従う ・枝番を出力する:ON 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分(最大8桁)に「-」を追加し工事コード枝番2桁出力 ・枝番を出力する:OFF 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分出力 ●「入庫」:基本設定「入庫」で指定したコードで出力 ※個別原価管理編の科目属性にかかわらず工事出力可 	<ul style="list-style-type: none"> ●環境設定の「工事コード桁数」、転記設定の「枝番を出力する」オプションに従う ・枝番を出力する:ON 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分(最大8桁)に「-」を追加し工事コード枝番2桁出力 ・枝番を出力する:OFF 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分出力
21	借方サブプロジェクトコード	20	文字	<ul style="list-style-type: none"> ●工種の転記先設定に従い出力 ●工種がない場合は空白 ※「プロジェクトコード」がなくても登録可能 	<ul style="list-style-type: none"> ●工種の転記先設定に従い出力 ●工種がない場合は空白
22	借方本体金額	13	数字	<ul style="list-style-type: none"> ●経理方式が「税抜」「税込」により税区分ごとに下記出力 ・税抜経理の場合 ○仕入伝票(通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:税抜外税、税込内税 	<ul style="list-style-type: none"> ●原価科目 通常転記の借方金額を工事>科目(補助科目)>部門(明細)>税区分ごとに集計して出力 集計した借方金額を下記のとおり出力

		<p>非課仕:税込金額 対象外:税込金額 完課仕:税込金額 課仕返:税抜外税、税込内税 不明 :税込金額 立替仕:税込金額</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:税抜外税、税込内税 非課仕:税込金額 対象外:税込金額 完課仕:税抜外税、税込内税 課仕返:税抜外税、税込内税 不明 :税込金額 立替仕:税込金額</p> <p>○支払伝票 税込金額</p> <p>○売上傳票 税込金額</p> <p>○入金伝票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:税抜外税、税込内税 非課仕:税込金額 対象外:税込金額 完課仕:税込金額 課仕返:税抜外税、税込内税 不明 :税込金額</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:税抜外税、税込内税 非課仕:税込金額 対象外:税込金額 完課仕:税抜外税、税込内税 課仕返:税抜外税、税込内税 不明 :税込金額</p> <p>○振替形式伝票の借方 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:税抜外税、税込内税 課税売:税抜外税、税込内税 非課仕:税込金額 非課売:税込金額 対象外:税込金額 完課仕:税込金額 完課売:税込金額 課仕返:税抜外税、税込内税 課売返:税抜外税、税込内税 不明 :税込金額 立替仕:税込金額</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:税抜外税、税込内税 課税売:税抜外税、税込内税 非課仕:税込金額 非課売:税込金額 対象外:税込金額 完課仕:税抜外税、税込内税 完課売:税抜外税、税込内税 課仕返:税抜外税、税込内税 課売返:税抜外税、税込内税 不明 :税込金額 立替仕:税込金額</p> <p>・税込経理の場合 すべて「税込」で出力 ※税抜外税:明細行が外税なら税抜金額で出力 ※税込内税:明細行が内税なら税込金額で出力</p>	<p>●売上科目 通常転記の貸方金額を工事>科目(補助科目)>部門(明細)>税区分ごとに集計して出力 集計した貸方金額を下記のとおり出力 ・税抜経理の場合 ○原価科目 税区分 出力する金額 課税仕:税抜金額 非課仕:税込金額 対象外:税込金額 完課仕:税込内税 課仕返:税抜金額 不明 :込金額 立替仕:税込金額</p> <p>○売上科目 税区分 出力する金額 課税売:税抜金額 非課売:税込金額 対象外:税込金額 完課売:税込金額 課売返:税抜金額 不明 :税込金額</p> <p>・税込経理の場合 完課仕は「税込内税」、その他すべて「税込金額」 ※税区分「完課仕」「完課売」は、通常転記では対象外で出力されるが、完成振替では課税区分で振替される ※ 税区分「立替仕」は、原価管理GO! では課税区分として扱われるが通常転記、完成振替ともに対象外で出力される</p>
--	--	---	---

23	借方消費税金額	13	<p>数字 ●経理方式が「税抜」「税込」に関わらず税区分ごとに 下記出力 ○仕入伝票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 非課仕:「0」 対象外:「0」 完課仕:「0」 課仕返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 非課仕:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 課仕返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」 ※「外税伝票計」は「0」(消費税は「金額」に出力される)</p> <p>○支払伝票 「0」</p> <p>○売上傳票 「0」</p> <p>○入金伝票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 非課仕:「0」 対象外:「0」 完課仕:「0」 課仕返:消費税金額 不明 :「0」</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 非課仕:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 課仕返:消費税金額 不明 :「0」</p> <p>○振替形式伝票の借方 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 課税売:消費税金額 非課仕:「0」 非課売:「0」 対象外:「0」 完課仕:「0」 完課売:「0」 課仕返:消費税金額 課売返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 課税売:消費税金額 非課仕:「0」 非課売:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 完課売:消費税金額 課仕返:消費税金額 課売返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」</p>	<p>●原価科目 集計した通常転記の借方消費税を下記 のとおり出力</p> <p>●売上科目 集計した通常転記の貸方消費税を下記 のとおり出力 ・税抜経理の場合 ○原価科目 税区分 出力する金額 課税仕:「0」 非課仕:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 課仕返:「0」 不明 :「0」 立替仕:「0」</p> <p>○売上科目 「0」</p> <p>・税込経理の場合 ○原価科目 税区分 出力する金額 課税仕:「0」 非課仕:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 課仕返:「0」 不明 :「0」 立替仕:「0」</p> <p>○売上科目 「0」</p>
----	---------	----	---	--

24	貸方部門コード	15	文字	<ul style="list-style-type: none"> ●部門の転記先設定に従い出力 ●基本設定 > 通常転記「部門」の設定により出力 ・「損益科目のみ」 ○仕入伝票 空白 ○支払伝票 損益科目のみ「伝票部門」を出力、他の科目は空白 ○売上伝票 損益科目のみ「伝票部門」を出力、他の科目は空白 ○入金伝票 空白 ○振替形式 「貸方科目」が損益科目なら「伝票部門」を出力、他の科目は空白 ・「全科目」 ○仕入伝票 「仕入先部門」を出力、「仕入先部門」がない場合は「伝票部門」を出力 ○支払伝票 全科目に「伝票部門」を出力 ○売上伝票 全科目に「伝票部門」を出力 ○入金伝票 「得意先部門」を出力、「得意先部門」がない場合は「伝票部門」を出力 ○振替形式 「貸方科目」の「伝票部門」を出力 ・「出力しない」 全伝票空白 ※伝票部門が未入力の場合は空白を出力 ※伝票計の消費税:伝票部門はなし ※仕入先(得意先)部門:伝票ヘッダー部の部門 ※伝票部門:伝票の各入力行の部門 ※損益科目:科目分類が「売上高」「原価」「販管費」「営業外収益」「営業外費用」「仮受消費税」「仮払消費税」の科目 	<ul style="list-style-type: none"> ●部門の転記先設定に従い出力 ●基本設定 > 通常転記「部門」の設定により出力 ・「損益科目のみ」:振替元の部門を出力 ・「全科目」:振替元の部門を出力 ・「出力しない」:空白
25	貸方勘定科目コード	10	文字	<ul style="list-style-type: none"> ●科目、得意先、仕入先の転記先設定に従い出力 仕入伝票:「仕入先」の転記先 支払伝票:「科目」の通常転記先 売上伝票:「科目」の通常転記先 入金伝票:「得意先」の転記先 振替形式:「貸方科目」の通常転記先 ●完成振替後は完成振替転記先を出力 ※通常転記先のみ設定している場合は通常転記先科目に転記 	<ul style="list-style-type: none"> ●科目の転記先設定に従い出力 原価科目:借方科目(通常転記先) 売上科目:貸方科目(完成振替転記先) ※借方科目:通常転記で借方に出力される科目(原価科目) 貸方科目:通常転記で貸方に出力される科目(売上科目)
26	貸方補助科目コード	10	文字	<ul style="list-style-type: none"> ●科目、得意先、仕入先の転記先設定に従い出力 仕入伝票:「仕入先」の転記先 支払伝票:「科目」の通常転記先 売上伝票:「科目」の通常転記先 入金伝票:「得意先」の転記先 振替形式:「貸方科目」の通常転記先 ●完成振替後は完成振替転記先を出力 ●転記先に補助科目がない場合は空白 	<ul style="list-style-type: none"> ●科目の転記先設定に従い出力 原価科目:借方科目(通常転記先) 売上科目:貸方科目(完成振替転記先) ●転記先に補助科目がない場合は空白
27	貸方税区分コード	4	数字	<ul style="list-style-type: none"> ●税区分の転記先設定に従い出力 仕入伝票:「対象外」 支払伝票:「通常転記」の税区分 売上伝票:「通常転記」の税区分 入金伝票:「対象外」 振替形式貸方:科目の税区分に応じた「通常転記」の税区分 ●外税伝票計の消費税:税区分は台帳「科目-消費税」の登録に従う 	<ul style="list-style-type: none"> ●税区分の転記先設定に従い出力 原価科目:「振替元」の税区分 売上科目:「振替先」の税区分
28	貸方税率	2	数字	●伝票の消費税率を出力	●伝票の消費税率を出力
29	貸方税率種別	1	数字	●伝票の税区分に従い出力 0:標準 1:軽減税率	●伝票の税区分に従い出力 0:標準 1:軽減税率
30	貸方事業区分コード	4	数字	●空白	●空白
31	貸方消費税計算	1	数字	<ul style="list-style-type: none"> ●経理方式「税抜」「税込」により下記出力 ・税抜経理 原価管理GO! の伝票税区分が内税:「2」 原価管理GO! の伝票税区分が明細単位:「1」 他:「0」 	<ul style="list-style-type: none"> ●経理方式「税抜」「税込」に関わらず下記出力 前項で消費税金額を出力する行:「1」 他:「0」

				・税込経理 前項で消費税金額を出力する行:「1」 他:「0」	
32	貸方端数処理	1	数字	●伝票の税端数を出力 0:切上げ1:四捨五入2:切捨て	●伝票の税端数を出力 0:切上げ1:四捨五入2:切捨て
33	貸方取引先コード	13	文字	●基本設定>「取引先コード」の設定に従う ○出力する 得意先、仕入先の転記先設定で登録された取引先 コードを出力する コード登録がない場合は出力しない ○出力しない 出力しない ※「プロジェクトコード」がなくても登録可能	●出力しない
34	貸方プロジェクト コード	20	文字	●環境設定の「工事コード桁数」、転記設定の「枝番を 出力する」オプションに従う ・枝番を出力する:ON 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁 数分(最大8桁)に「-」を追加し工事コード枝番2桁出 力 ・枝番を出力する:OFF 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁 数分出力 ●「入庫」:基本設定「入庫」で指定したコードで出力 ※個別原価管理編の科目属性にかかわらず工事出力 可	●環境設定の「工事コード桁数」、転記設定の 「枝番を出力する」オプションに従う ・枝番を出力する:ON 明細行の工事コード左より環境設定の工事 コード桁数分(最大8桁)に「-」を追加し工事 コード枝番2桁出力 ・枝番を出力する:OFF 明細行の工事コード左より環境設定の工事 コード桁数分出力
35	貸方サブプロジェ クトコード	20	文字	●工種の転記先設定に従い出力 ●工種がない場合は空白 ※「プロジェクトコード」がなくても登録可能	●工種の転記先設定に従い出力 ●工種がない場合は空白
36	貸方本体金額	13	数字	● 経理方式が「税抜」「税込」により税区分ごとに下記 出力 ・税抜経理の場合 ○仕入伝票 税込金額 ○支払伝票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:税抜外税、税込内税 非課仕:税込金額 対象外:税込金額 完課仕:税込金額 課仕返:税抜外税、税込内税 不明 :税込金額 立替仕:税込金額 (完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:税抜外税、税込内税 非課仕:税込金額 対象外:税込金額 完課仕:税抜外税、税込内税 課仕返:税抜外税、税込内税 不明 :税込金額 立替仕:税込金額 ○売上传票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税売:税抜外税、税込内税 非課売:税込金額 対象外:税込金額 完課売:税込金額 課売返:税抜外税、税込内税 不明 :税込金額 (完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税売:税抜外税、税込内税 非課売:税込金額 対象外:税込金額 完課売:税抜外税、税込内税 課売返:税抜外税、税込内税 不明 :税込金額 ○入金伝票 税込金額	●原価科目 通常転記の借方金額を工事>科目(補助科 目)>部門(明細)>税区分ごとに集計して出力 集計した借方金額を下記のとおり出力 ●売上科目 通常転記の貸方金額を工事>科目(補助科 目)>部門(明細)>税区分ごとに集計して出力 集計した貸方金額を下記のとおり出力 ・税抜経理の場合 ○原価科目 税区分 出力する金額 課税仕:税抜金額 非課仕:税込金額 対象外:税込金額 完課仕:税込金額 課仕返:税抜金額 不明 :税込金額 立替仕:税込金額 ○売上科目 税区分:出力する金額 課税売:税抜金額 非課売:税込金額 対象外:税込金額 完課売:税込金額 課売返:税抜金額 不明 :税込金額 ・税込経理の場合 完課売は「税込内税」、その他すべて「税込金 額」 ※税区分「完課仕」「完課売」は、通常転記では 対象外で出力されるが、完成振替では課税区分 で振替される ※ 税区分「立替仕」は、原価管理GO! では課税 区分として扱われるが通常転記、完成振替とも に対象外で出力される

			<p>○振替形式伝票の貸方 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 課税売: 税抜外税、税込内税 非課仕: 税込金額 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税込金額 完課売: 税込金額 課仕返: 税抜外税、税込内税 課売返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 課税売: 税抜外税、税込内税 非課仕: 税込金額 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税込金額 完課売: 税込金額 課仕返: 税抜外税、税込内税 課売返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額</p> <p>・税込経理の場合 すべて「税込」で出力 ※税抜外税: 明細行が外税なら税抜金額で出力 ※税込内税: 明細行が内税なら税込金額で出力</p>	
37	貸方消費税金額	13	<p>数字 ●経理方式が「税抜」「税込」に関わらず税区分ごとに 下記出力 ○仕入伝票 「0」</p> <p>○支払伝票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 消費税金額 非課仕: 「0」 対象外: 「0」 完課仕: 「0」 課仕返: 消費税金額 不明 : 「0」 立替仕: 「0」</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 消費税金額 非課仕: 「0」 対象外: 「0」 完課仕: 消費税金額 課仕返: 消費税金額 不明 : 「0」 立替仕: 「0」</p> <p>○売上傳票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税売: 消費税金額 非課売: 「0」 対象外: 「0」 完課売: 「0」 課売返: 消費税金額 不明 : 「0」</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税売: 消費税金額 非課売: 「0」 対象外: 「0」 税金額 課売返: 消費税金額 不明 : 「0」</p> <p style="text-align: right;">完課売: 消費</p>	<p>●原価科目 集計した通常転記の借方消費税を下記のとおり出力 ●売上科目 集計した通常転記の貸方消費税を下記のとおり出力 ・税抜経理の場合 ○原価科目 「0」</p> <p>○売上科目 税区分 出力する金額 課税売: 「0」 非課売: 「0」 対象外: 「0」 完課売: 消費税金額 課売返: 「0」 不明 : 「0」</p> <p>・税込経理の場合 ○原価科目 「0」</p> <p>○売上科目 税区分 出力する金額 課税売: 「0」 非課売: 「0」 対象外: 「0」 完課売: 消費税金額 課売返: 「0」 不明: 「0」</p>

			<p>※「外税伝票計」は「0」(消費税は「金額」に出力される)</p> <p>○入金伝票 「0」</p> <p>○振替形式伝票の貸方 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 課税売:消費税金額 非課仕:「0」 非課売:「0」 対象外:「0」 完課仕:「0」 完課売:「0」 課仕返:消費税金額 課売返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 課税売:消費税金額 非課仕:「0」 非課売:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 完課売:消費税金額 課仕返:消費税金額 課売返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」</p>		
38	摘要	40	文字	<p>●基本設定 > 通常転記「摘要転記内容」の選択項目が転記される</p> <p>●各項目間には半角スペースが入る</p> <p>●合計転記も明細転記の設定に従うが、「伝票番号」「商品」「仕様」は出力しない</p>	<p>●基本設定 > 完成振替「摘要転記内容」の選択項目が転記される</p> <p>●各項目間には半角スペースが入る</p> <p>●40桁を超えた場合は「転記画面の伝票摘要」の文字数を少なく転記する</p>

B-6

勘定奉行V10/V11[建設業編]

順	項目名	桁数 (半角)	型	通常転記	完成振替
1	伝票区切	1	文字	●伝票の先頭行のみ[*]、2行目以降空白 ※ただし先頭行の[*]は「*」で囲まない	●伝票の先頭行のみ[*]、2行目以降空白 ※ただし先頭行の[*]は「*」で囲まない
2	伝票区分コード	2	数字	●空白(通常伝票)	●空白(通常伝票)
3	用途区分	1	数字	●「0」を出力(振替伝票)	●「0」を出力(振替伝票)
4	部門指定方法	1	数字	●「1」を出力(勘定科目単位)	●「1」を出力(勘定科目単位)
5	伝票部門コード	15	文字	●空白	●空白
6	日付	11	文字	●西暦で出力 出力例)西暦:20110101 ●明細転記:伝票日付を出力 ●合計転記:集計期間の終了日を出力 ●「同一日付指定」の場合はその日付を出力	●西暦で出力 出力例)西暦:20110101 ●工事の完成日(工事登録の「進捗」日付)を出力 ●「同一日付指定」の場合はその日付を出力
7	整理区分	1	数字	●「0」を出力(日常仕訳)	●「0」を出力(日常仕訳)
8	伝票No	15	数字	●「書出順」の指定に従う ●転記のつど「伝票番号」に入力した数字から昇順に出力 ●仕入>支払>査定作成>売上>入金>入金振替伝票の順で付番 ●「転記単位」設定が「工事別仕入先(得意先)毎」の場合は、伝票種類>工事>仕入先(得意先)>科目>部門(ヘッダー)>部門(明細)>工種>税区分ごとに集計して付番 ●250行を超えた行から別の伝票を作成する ●分割した伝票の伝票番号は同じ番号を付ける ※伝票番号は重複可	●転記のつど「伝票番号」に入力した数字から昇順に出力 ●原価科目>売上科目の順で付番 ●工事毎に工事コード昇順で付番 ●250行を超えた行から別の伝票を作成する ●分割した伝票の伝票番号は同じ番号を付ける ※伝票番号は重複可
9	伝票入力形式	1	数字	●「0」を出力(通常入力)	●「0」を出力(通常入力)
10	借方部門コード	15	文字	●部門の転記先設定に従い出力 ●基本設定>通常転記「部門」の設定により出力 ・「損益科目のみ」 ○仕入伝票 損益科目のみ「伝票部門」を出力、他の科目は空白 ○支払伝票 空白 ○売上传票 空白 ○入金伝票 損益科目のみ「伝票部門」を出力、他の科目は空白 ○振替形式 「借方科目」が損益科目なら「伝票部門」を出力、他の科目は空白 ・「全科目」 ○仕入伝票 全科目に「伝票部門」を出力 ○支払伝票 「仕入先部門」を出力、「仕入先部門」がない場合は「伝票部門」を出力 ○売上传票 「得意先部門」を出力、「得意先部門」がない場合は「伝票部門」を出力 ○入金伝票 全科目に「伝票部門」を出力、振替形式「借方科目」の「伝票部門」を出力 ・「出力しない」 全伝票空白 ※伝票部門が未入力の場合は空白を出力 ※伝票計の消費税:伝票部門はなし ※仕入先(得意先)部門:伝票ヘッダー部の部門 ※伝票部門:伝票の各入力行の部門 ※損益科目:科目分類が「売上高」「原価」「販管費」「営業外収益」「営業外費用」「仮受消費税」「仮払消費税」の科目	●部門の転記先設定に従い出力 ●基本設定>通常転記「部門」の設定により出力 ・「損益科目のみ」:振替元の部門を出力 ・「全科目」:振替元の部門を出力 ・「出力しない」:空白

11	借方勘定科目コード	10	文字	<ul style="list-style-type: none"> ●科目、得意先、仕入先の転記先設定に従い出力 仕入伝票:「科目」の転記先 支払伝票:「仕入先」の通常転記先 売上傳票:「得意先」の通常転記先 入金伝票:「科目」の転記先 振替形式:「借方科目」の通常転記先 ●完成振替後は完成振替転記先を出力 ※通常転記先のみ設定している場合は通常転記先科目に転記 	<ul style="list-style-type: none"> ●科目の転記先設定に従い出力 原価科目:借方科目(完成振替転記先) 売上科目:貸方科目(通常転記先) ※借方科目:通常転記で借方に出力される科目(原価科目) 貸方科目:通常転記で貸方に出力される科目(売上科目)
12	借方補助科目コード	10	文字	<ul style="list-style-type: none"> ●科目、得意先、仕入先の転記先設定に従い出力 仕入伝票:「科目」の転記先 支払伝票:「仕入先」の通常転記先 売上傳票:「得意先」の通常転記先 入金伝票:「科目」の転記先 振替形式:「借方科目」の通常転記先 ●完成振替後は完成振替転記先を出力 ●転記先に補助科目がない場合は空白 	<ul style="list-style-type: none"> ●科目の転記先設定に従い出力 原価科目:借方科目(完成振替転記先) 売上科目:貸方科目(通常転記先) ●転記先に補助科目がない場合は空白
13	借方税区分コード	4	数字	<ul style="list-style-type: none"> ●税区分の転記先設定に従い出力 仕入伝票:「通常転記」の税区分 支払伝票:「対象外」 売上傳票:「対象外」 入金伝票:「通常転記」の税区分 振替形式:借方科目の税区分に応じた「通常転記」の税区分 ●外税伝票計の消費税:税区分は台帳「科目-消費税」の登録に従う 	<ul style="list-style-type: none"> ●税区分の転記先設定に従い出力 原価科目:「振替先」の税区分 売上科目:「振替元」の税区分
14	借方税率	2	数字	●伝票の消費税率を出力	●伝票の消費税率を出力
15	借方税率種別	1	数字	●伝票の税区分に従い出力 0:標準 1:軽減税率	●伝票の税区分に従い出力 0:標準 1:軽減税率
16	借方事業区分コード	4	数字	●空白	●空白
17	借方消費税計算	1	数字	<ul style="list-style-type: none"> ●経理方式「税抜」「税込」により下記出力 ・税抜経理 原価管理GO! の伝票税区分が内税:「2」 原価管理GO! の伝票税区分が明細単位:「1」 他:「0」 ・税込経理 前項で消費税金額を出力する行:「1」 他:「0」 	<ul style="list-style-type: none"> ●経理方式「税抜」「税込」に関わらず下記出力 前項で消費税金額を出力する行:「2」 他:「0」
18	借方端数処理	1	数字	●伝票の税端数を出力 0:切上げ1:四捨五入2:切捨て	●伝票の税端数を出力 0:切上げ1:四捨五入2:切捨て
19	借方取引先コード	13	文字	<ul style="list-style-type: none"> ●基本設定>「取引先コード」の設定に従う ○出力する 得意先、仕入先の転記先設定で登録された取引先コードを出力する コード登録がない場合は出力しない ○出力しない 出力しない ※「プロジェクトコード」がなくても登録可能 	●出力しない
20	借方工事コード	20	文字	<ul style="list-style-type: none"> ●環境設定の「工事コード桁数」、転記設定の「枝番を出力する」オプションに従う ・枝番を出力する:ON 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分(最大8桁)に「-」を追加し工事コード枝番2桁出力 ・枝番を出力する:OFF 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分出力 ●「入庫」:基本設定「入庫」で指定したコードで出力 ※個別原価管理編の科目属性にかかわらず工事出力可 	<ul style="list-style-type: none"> ●環境設定の「工事コード桁数」、転記設定の「枝番を出力する」オプションに従う ・枝番を出力する:ON 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分(最大8桁)に「-」を追加し工事コード枝番2桁出力 ・枝番を出力する:OFF 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分出力
21	借方工種コード	20	文字	<ul style="list-style-type: none"> ●工種の転記先設定に従い出力 ●工種がない場合は空白 ※「プロジェクトコード」がなくても登録可能 	<ul style="list-style-type: none"> ●工種の転記先設定に従い出力 ●工種がない場合は空白
22	借方本体金額	13	数字	<ul style="list-style-type: none"> ●経理方式が「税抜」「税込」により税区分ごとに下記出力 ・税抜経理の場合 ○仕入伝票(通常転記) 税区分 出力する金額 	<ul style="list-style-type: none"> ●原価科目 通常転記の借方金額を工事>科目(補助科目)>部門(明細)>税区分ごとに集計して出力 集計した借方金額を下記のとおり出力

		<p>課税仕: 税抜外税、税込内税 非課税: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税込金額 課仕返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 非課税: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税抜外税、税込内税 課仕返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額</p> <p>○支払伝票 税込金額</p> <p>○売上傳票 税込金額</p> <p>○入金伝票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 非課税: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税込金額 課仕返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 非課税: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税抜外税、税込内税 課仕返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額</p> <p>○振替形式伝票の借方 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 課税売: 税抜外税、税込内税 非課税: 税込金額 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税込金額 完課売: 税込金額 課仕返: 税抜外税、税込内税 課売返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 課税売: 税抜外税、税込内税 非課税: 税込金額 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税抜外税、税込内税 完課売: 税抜外税、税込内税 課仕返: 税抜外税、税込内税 課売返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額</p> <p>・税込経理の場合 すべて「税込」で出力 ※税抜外税: 明細行が外税なら税抜金額で出力 ※税込内税: 明細行が内税なら税込金額で出力</p>	<p>●売上科目 通常転記の貸方金額を工事>科目(補助科目)>部門(明細)>税区分ごとに集計して出力 集計した貸方金額を下記のとおり出力・税抜経理の場合</p> <p>○原価科目 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜金額 非課税: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税込内税 課仕返: 税抜金額 不明 : 込金額 立替仕: 税込金額</p> <p>○売上科目 税区分 出力する金額 課税売: 税抜金額 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課売: 税込金額 課売返: 税抜金額 不明 : 税込金額</p> <p>・税込経理の場合 完課仕は「税込内税」、その他すべて「税込金額」 ※税区分「完課仕」「完課売」は、通常転記では対象外で出力されるが、完成振替では課税区分で振替される ※ 税区分「立替仕」は、原価管理GO! では課税区分として扱われるが通常転記、完成振替ともに対象外で出力される</p>
--	--	--	--

23	借方消費税金額	13	<p>数字 ●経理方式が「税抜」「税込」に関わらず税区分ごとに 下記出力 ○仕入伝票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 非課仕:「0」 対象外:「0」 完課仕:「0」 課仕返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 非課仕:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 課仕返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」 ※「外税伝票計」は「0」(消費税は「金額」に出力される)</p> <p>○支払伝票 「0」</p> <p>○売上伝票 「0」</p> <p>○入金伝票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 非課仕:「0」 対象外:「0」 完課仕:「0」 課仕返:消費税金額 不明 :「0」</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 非課仕:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 課仕返:消費税金額 不明 :「0」</p> <p>○振替形式伝票の借方 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 課税売:消費税金額 非課仕:「0」 非課売:「0」 対象外:「0」 完課仕:「0」 完課売:「0」 課仕返:消費税金額 課売返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 課税売:消費税金額 非課仕:「0」 非課売:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 完課売:消費税金額 課仕返:消費税金額 課売返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」</p>	<p>●原価科目 集計した通常転記の借方消費税を下記 のとおり出力 ●売上科目 集計した通常転記の貸方消費税を下記 のとおり出力 ・税抜経理の場合 ○原価科目 税区分 出力する金額 課税仕:「0」 非課仕:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 課仕返:「0」 不明 :「0」 立替仕:「0」</p> <p>○売上科目 「0」</p> <p>・税込経理の場合 ○原価科目 税区分 出力する金額 課税仕:「0」 非課仕:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 課仕返:「0」 不明 :「0」 立替仕:「0」</p> <p>○売上科目 「0」</p>
----	---------	----	---	---

24	貸方部門コード	15	文字	<ul style="list-style-type: none"> ●部門の転記先設定に従い出力 ●基本設定 > 通常転記「部門」の設定により出力 ・「損益科目のみ」 ○仕入伝票 空白 ○支払伝票 損益科目のみ「伝票部門」を出力、他の科目は空白 ○売上伝票 損益科目のみ「伝票部門」を出力、他の科目は空白 ○入金伝票 空白 ○振替形式 「貸方科目」が損益科目なら「伝票部門」を出力、他の科目は空白 ・「全科目」 ○仕入伝票 「仕入先部門」を出力、「仕入先部門」がない場合は「伝票部門」を出力 ○支払伝票 全科目に「伝票部門」を出力 ○売上伝票 全科目に「伝票部門」を出力 ○入金伝票 「得意先部門」を出力、「得意先部門」がない場合は「伝票部門」を出力 ○振替形式 「貸方科目」の「伝票部門」を出力 ・「出力しない」 全伝票空白 ※伝票部門が未入力の場合は空白を出力 ※伝票計の消費税:伝票部門はなし ※仕入先(得意先)部門:伝票ヘッダー部の部門 ※伝票部門:伝票の各入力行の部門 ※損益科目:科目分類が「売上高」「原価」「販管費」「営業外収益」「営業外費用」「仮受消費税」「仮払消費税」の科目 	<ul style="list-style-type: none"> ●部門の転記先設定に従い出力 ●基本設定 > 通常転記「部門」の設定により出力 ・「損益科目のみ」:振替元の部門を出力 ・「全科目」:振替元の部門を出力 ・「出力しない」:空白
25	貸方勘定科目コード	10	文字	<ul style="list-style-type: none"> ●科目、得意先、仕入先の転記先設定に従い出力 仕入伝票:「仕入先」の転記先 支払伝票:「科目」の通常転記先 売上伝票:「科目」の通常転記先 入金伝票:「得意先」の転記先 振替形式:「貸方科目」の通常転記先 ●完成振替後は完成振替転記先を出力 ※通常転記先のみ設定している場合は通常転記先科目に転記 	<ul style="list-style-type: none"> ●科目の転記先設定に従い出力 原価科目:借方科目(通常転記先) 売上科目:貸方科目(完成振替転記先) ※借方科目:通常転記で借方に出力される科目(原価科目) 貸方科目:通常転記で貸方に出力される科目(売上科目)
26	貸方補助科目コード	10	文字	<ul style="list-style-type: none"> ●科目、得意先、仕入先の転記先設定に従い出力 仕入伝票:「仕入先」の転記先 支払伝票:「科目」の通常転記先 売上伝票:「科目」の通常転記先 入金伝票:「得意先」の転記先 振替形式:「貸方科目」の通常転記先 ●完成振替後は完成振替転記先を出力 ●転記先に補助科目がない場合は空白 	<ul style="list-style-type: none"> ●科目の転記先設定に従い出力 原価科目:借方科目(通常転記先) 売上科目:貸方科目(完成振替転記先) ●転記先に補助科目がない場合は空白
27	貸方税区分コード	4	数字	<ul style="list-style-type: none"> ●税区分の転記先設定に従い出力 仕入伝票:「対象外」 支払伝票:「通常転記」の税区分 売上伝票:「通常転記」の税区分 入金伝票:「対象外」 振替形式貸方:科目の税区分に応じた「通常転記」の税区分 ●外税伝票計の消費税:税区分は台帳「科目-消費税」の登録に従う 	<ul style="list-style-type: none"> ●税区分の転記先設定に従い出力 原価科目:「振替元」の税区分 売上科目:「振替先」の税区分
28	貸方税率	2	数字	●伝票の消費税率を出力	●伝票の消費税率を出力
29	貸方税率種別	1	数字	●伝票の税区分に従い出力 0:標準 1:軽減税率	●伝票の税区分に従い出力 0:標準 1:軽減税率
30	貸方事業区分コード	4	数字	●空白	●空白
31	貸方消費税計算	1	数字	<ul style="list-style-type: none"> ●経理方式「税抜」「税込」により下記出力 ・税抜経理 原価管理GO! の伝票税区分が内税:「2」 原価管理GO! の伝票税区分が明細単位:「1」 他:「0」 ・税込経理 前項で消費税金額を出力する行:「1」 他:「0」 	<ul style="list-style-type: none"> ●経理方式「税抜」「税込」に関わらず下記出力 前項で消費税金額を出力する行:「1」 他:「0」

32	貸方端数処理	1	数字	●伝票の税端数を出力 0:切上げ1:四捨五入2:切捨て	●伝票の税端数を出力 0:切上げ1:四捨五入2:切捨て
33	貸方取引先コード	13	文字	●基本設定>「取引先コード」の設定に従う ○出力する 得意先、仕入先の転記先設定で登録された取引先コードを出力する コード登録がない場合は出力しない ○出力しない 出力しない ※「プロジェクトコード」がなくても登録可能	●出力しない
34	貸方工事コード	20	文字	●環境設定の「工事コード桁数」、転記設定の「枝番を出力する」オプションに従う ・枝番を出力する:ON 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分(最大8桁)に「-」を追加し工事コード枝番2桁出力 ・枝番を出力する:OFF 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分出力 ●「入庫」:基本設定「入庫」で指定したコードで出力 ※個別原価管理編の科目属性にかかわらず工事出力可	●環境設定の「工事コード桁数」、転記設定の「枝番を出力する」オプションに従う ・枝番を出力する:ON 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分(最大8桁)に「-」を追加し工事コード枝番2桁出力 ・枝番を出力する:OFF 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分出力
35	貸方工種コード	20	文字	●工種の転記先設定に従い出力 ●工種がない場合は空白 ※「プロジェクトコード」がなくても登録可能	●工種の転記先設定に従い出力 ●工種がない場合は空白
36	貸方本体金額	13	数字	●経理方式が「税抜」「税込」により税区分ごとに下記出力 ・税抜経理の場合 ○仕入伝票 税込金額 ○支払伝票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:税抜外税、税込内税 非課仕:税込金額 対象外:税込金額 完課仕:税込金額 課仕返:税抜外税、税込内税 不明 :税込金額 立替仕:税込金額 (完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:税抜外税、税込内税 非課仕:税込金額 対象外:税込金額 完課仕:税抜外税、税込内税 課仕返:税抜外税、税込内税 不明 :税込金額 立替仕:税込金額 ○売上伝票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税売:税抜外税、税込内税 非課売:税込金額 対象外:税込金額 完課売:税込金額 課売返:税抜外税、税込内税 不明 :税込金額 (完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税売:税抜外税、税込内税 非課売:税込金額 対象外:税込金額 完課売:税抜外税、税込内税 課売返:税抜外税、税込内税 不明 :税込金額	●原価科目 通常転記の借方金額を工事>科目(補助科目)>部門(明細)>税区分ごとに集計して出力 集計した借方金額を下記のとおり出力 ●売上科目 通常転記の貸方金額を工事>科目(補助科目)>部門(明細)>税区分ごとに集計して出力 集計した貸方金額を下記のとおり出力 ・税抜経理の場合 ○原価科目 税区分 出力する金額 課税仕:税抜金額 非課仕:税込金額 対象外:税込金額 完課仕:税込金額 課仕返:税抜金額 不明 :税込金額 立替仕:税込金額 ○売上科目 税区分:出力する金額 課税売:税抜金額 非課売:税込金額 対象外:税込金額 完課売:税込金額 課売返:税抜金額 不明 :税込金額 ・税込経理の場合 完課売は「税込内税」、その他すべて「税込金額」 ※税区分「完課仕」「完課売」は、通常転記では対象外で出力されるが、完成振替では課税区分で振替される ※ 税区分「立替仕」は、原価管理GO! では課税区分として扱われるが通常転記、完成振替ともに対象外で出力される

			<p>○入金伝票 税込金額</p> <p>○振替形式伝票の貸方 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 課税売: 税抜外税、税込内税 非課仕: 税込金額 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税込金額 完課売: 税込金額 課仕返: 税抜外税、税込内税 課売返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 課税売: 税抜外税、税込内税 非課仕: 税込金額 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税込金額 完課売: 税込金額 課仕返: 税抜外税、税込内税 課売返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額</p> <p>・税込経理の場合 すべて「税込」で出力 ※税抜外税: 明細行が外税なら税抜金額で出力 ※税込内税: 明細行が内税なら税込金額で出力</p>		
37	貸方消費税金額	13	数字	<p>●経理方式が「税抜」「税込」に関わらず税区分ごとに 下記出力 ○仕入伝票 「0」</p> <p>○支払伝票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 消費税金額 非課仕: 「0」 対象外: 「0」 完課仕: 「0」 課仕返: 消費税金額 不明 : 「0」 立替仕: 「0」</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 消費税金額 非課仕: 「0」 対象外: 「0」 完課仕: 消費税金額 課仕返: 消費税金額 不明 : 「0」 立替仕: 「0」</p> <p>○売上傳票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税売: 消費税金額 非課売: 「0」 対象外: 「0」 完課売: 「0」 課売返: 消費税金額 不明 : 「0」</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額</p> <p>課税売: 消費税金額 非課売: 「0」 対象外: 「0」</p>	<p>●原価科目 集計した通常転記の借方消費税を下記のとおり出力 ●売上科目 集計した通常転記の貸方消費税を下記のとおり出力 ・税抜経理の場合 ○原価科目 「0」</p> <p>○売上科目 税区分 出力する金額 課税売: 「0」 非課売: 「0」 対象外: 「0」 完課売: 消費税金額 課売返: 「0」 不明 : 「0」</p> <p>・税込経理の場合 ○原価科目 「0」</p> <p>○売上科目 税区分 出力する金額 課税売: 「0」 非課売: 「0」 対象外: 「0」 完課売: 消費税金額 課売返: 「0」 不明: 「0」</p>

			<p>完課売:消費税金額 課売返:消費税金額 不明 :「0」 ※「外税伝票計」は「0」(消費税は「金額」に出力される)</p> <p>○入金伝票 「0」</p> <p>○振替形式伝票の貸方 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 課税売:消費税金額 非課仕:「0」 非課売:「0」 対象外:「0」 完課仕:「0」 完課売:「0」 課仕返:消費税金額 課売返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 課税売:消費税金額 非課仕:「0」 非課売:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 完課売:消費税金額 課仕返:消費税金額 課売返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」</p>		
38	摘要	40	文字	<p>●基本設定 > 通常転記「摘要転記内容」の選択項目が転記される ●各項目間には半角スペースが入る ●合計転記も明細転記の設定に従うが、「伝票番号」「商品」「仕様」は出力しない</p>	<p>●基本設定 > 完成振替「摘要転記内容」の選択項目が転記される ●各項目間には半角スペースが入る ●40桁を超えた場合は「転記画面の伝票摘要」の文字数を少なく転記する</p>

B-7 勘定奉行i10/i11/クラウド

順	項目名	桁数 (半角)	型	通常転記	完成振替
1	伝票区切	1	文字	●伝票の先頭行のみ「*」、2行目以降空白 ※ただし先頭行の「*」は「」で囲まない	●伝票の先頭行のみ「*」、2行目以降空白 ※ただし先頭行の「*」は「」で囲まない
2	伝票区分コード	2	数字	●空白(通常伝票)	●空白(通常伝票)
3	用途区分	1	数字	●「0」を出力(振替伝票)	●「0」を出力(振替伝票)
4	部門指定方法	1	数字	●「1」を出力(勘定科目単位)	●「1」を出力(勘定科目単位)
5	伝票部門コード	4	文字	●空白	●空白
6	日付	11	文字	●西暦で出力 出力例)西暦:20110101 ●明細転記:伝票日付を出力 ●合計転記:集計期間の終了日を出力 ●「同一日付指定」の場合はその日付を出力	●西暦で出力 出力例)西暦:20110101 ●工事の完成日(工事登録の「進捗」日付)を出力 ●「同一日付指定」の場合はその日付を出力
7	整理区分	1	数字	●「0」を出力(日常仕訳)	●「0」を出力(日常仕訳)
8	伝票No	15	数字	●「書出順」の指定に従う ●転記のつど「伝票番号」に入力した数字から昇順に出力 ●仕入>支払>査定作成>売上>入金>入金振替伝票の順で付番 ●「転記単位」設定が「工事別仕入先(得意先)毎」の場合は、伝票種類>工事>仕入先(得意先)>科目>部門(ヘッダー)>部門(明細)>工種>税区分ごとに集計して付番 ●250行を超えた行から別の伝票を作成する ●分割した伝票の伝票番号は同じ番号を付ける ※伝票番号は重複可	●転記のつど「伝票番号」に入力した数字から昇順に出力 ●原価科目>売上科目の順で付番 ●工事毎に工事コード昇順で付番 ●250行を超えた行から別の伝票を作成する ●分割した伝票の伝票番号は同じ番号を付ける ※伝票番号は重複可
9	伝票入力形式	1	数字	●「0」を出力(通常入力)	●「0」を出力(通常入力)
10	借方部門コード	4	文字	●部門の転記先設定に従い出力 ●基本設定>通常転記「部門」の設定により出力 ・「損益科目のみ」 ○仕入伝票 損益科目のみ「伝票部門」を出力、他の科目は空白 ○支払伝票 空白 ○売上伝票 空白 ○入金伝票 損益科目のみ「伝票部門」を出力、他の科目は空白 ○振替形式 「借方科目」が損益科目なら「伝票部門」を出力、他の科目は空白 ・「全科目」 ○仕入伝票 全科目に「伝票部門」を出力 ○支払伝票 「仕入先部門」を出力、「仕入先部門」がない場合は「伝票部門」を出力 ○売上伝票 「得意先部門」を出力、「得意先部門」がない場合は「伝票部門」を出力 ○入金伝票 全科目に「伝票部門」を出力、振替形式「借方科目」の「伝票部門」を出力 ・「出力しない」 全伝票空白 ※伝票部門が未入力の場合は空白を出力 ※伝票計の消費税:伝票部門はなし ※仕入先(得意先)部門:伝票ヘッダー部の部門 ※伝票部門:伝票の各入力行の部門 ※損益科目:科目分類が「売上高」「原価」「販管費」「営業外収益」「営業外費用」「仮受消費税」「仮払消費税」の科目	●部門の転記先設定に従い出力 ●基本設定>通常転記「部門」の設定により出力 ・「損益科目のみ」:振替元の部門を出力 ・「全科目」:振替元の部門を出力 ・「出力しない」:空白
11	借方勘定科目コード	4	文字	●科目、得意先、仕入先の転記先設定に従い出力 仕入伝票:「科目」の転記先 支払伝票:「仕入先」の通常転記先	●科目の転記先設定に従い出力 原価科目:借方科目(完成振替転記先) 売上科目:貸方科目(通常転記先)

				売上传票:「得意先」の通常転記先 入金伝票:「科目」の転記先 振替形式:「借方科目」の通常転記先 ●完成振替後は完成振替転記先を出力 ※通常転記先のみ設定している場合は通常転記先科目に転記	※借方科目:通常転記で借方に出力される科目(原価科目) 貸方科目:通常転記で貸方に出力される科目(売上科目)
12	借方補助科目コード	4	文字	●科目、得意先、仕入先の転記先設定に従い出力 仕入伝票:「科目」の転記先 支払伝票:「仕入先」の通常転記先 売上传票:「得意先」の通常転記先 入金伝票:「科目」の転記先 振替形式:「借方科目」の通常転記先 ●完成振替後は完成振替転記先を出力 ●転記先に補助科目がない場合は空白	●科目の転記先設定に従い出力 原価科目:借方科目(完成振替転記先) 売上科目:貸方科目(通常転記先) ●転記先に補助科目がない場合は空白
13	借方税区分コード	4	数字	●税区分の転記先設定に従い出力 仕入伝票:「通常転記」の税区分 支払伝票:「対象外」 売上传票:「対象外」 入金伝票:「通常転記」の税区分 振替形式:借方科目の税区分に応じた「通常転記」の税区分 ●外税伝票計の消費税:税区分は台帳「科目-消費税」の登録に従う	●税区分の転記先設定に従い出力 原価科目:「振替先」の税区分 売上科目:「振替元」の税区分
14	借方税率	2	数字	●伝票の消費税率を出力	●伝票の消費税率を出力
15	借方税率種別	1	数字	●伝票の税区分に従い出力 0:標準 1:軽減税率	●伝票の税区分に従い出力 0:標準 1:軽減税率
16	借方事業区分コード	4	数字	●空白	●空白
17	借方消費税計算	1	数字	●経理方式「税抜」「税込」により下記出力 ・税抜経理 原価管理GO! の伝票税区分が内税:「2」 原価管理GO! の伝票税区分が明細単位:「1」 他:「0」 ・税込経理 前項で消費税金額を出力する行:「1」 他:「0」	●経理方式「税抜」「税込」に関わらず下記出力 前項で消費税金額を出力する行:「2」 他:「0」
18	借方端数処理	1	数字	●伝票の税端数を出力 0:切上げ1:四捨五入2:切捨て	●伝票の税端数を出力 0:切上げ1:四捨五入2:切捨て
19	借方取引先コード	13	文字	●基本設定>「取引先コード」の設定に従う ○出力する 得意先、仕入先の転記先設定で登録された取引先コードを出力する コード登録がない場合は出力しない ○出力しない 出力しない ※「プロジェクトコード」がなくとも登録可能	●出力しない
20	借方本体金額	13	数字	●経理方式が「税抜」「税込」により税区分ごとに下記出力 ・税抜経理の場合 ○仕入伝票(通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:税抜外税、税込内税 非課税:税込金額 対象外:税込金額 完課税:税込金額 課税返:税抜外税、税込内税 不明 :税込金額 立替仕:税込金額 (完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:税抜外税、税込内税 非課税:税込金額 対象外:税込金額 完課税:税抜外税、税込内税 課税返:税抜外税、税込内税 不明 :税込金額 立替仕:税込金額 ○支払伝票 税込金額 ○売上传票 税込金額	●原価科目 通常転記の借方金額を工事>科目(補助科目)>部門(明細)>税区分ごとに集計して出力 集計した借方金額を下記のとおり出力 ●売上科目 通常転記の貸方金額を工事>科目(補助科目)>部門(明細)>税区分ごとに集計して出力 集計した貸方金額を下記のとおり出力 ・税抜経理の場合 ○原価科目 税区分 出力する金額 課税仕:税抜金額 非課税:税込金額 対象外:税込金額 完課税:税込内税 課税返:税抜金額 不明 :税込金額 立替仕:税込金額 ○売上科目 税区分 出力する金額 課税売:税抜金額 非課売:税込金額 対象外:税込金額 完課売:税込金額 課売返:税抜金額 不明 :税込金額

			<p>○入金伝票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 非課仕: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税込金額 課仕返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 非課仕: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税抜外税、税込内税 課仕返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額</p> <p>○振替形式伝票の借方 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 課税売: 税抜外税、税込内税 非課仕: 税込金額 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税込金額 完課売: 税込金額 課仕返: 税抜外税、税込内税 課売返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 課税売: 税抜外税、税込内税 非課仕: 税込金額 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税抜外税、税込内税 完課売: 税抜外税、税込内税 課仕返: 税抜外税、税込内税 課売返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額</p> <p>・税込経理の場合 すべて「税込」で出力 ※税抜外税: 明細行が外税なら税抜金額で出力 ※税込内税: 明細行が内税なら税込金額で出力</p>	<p>・税込経理の場合 完課仕は「税込内税」、その他すべて「税込金額」 ※税区分「完課仕」「完課売」は、通常転記では対象外で出力されるが、完成振替では課税区分で振替される ※ 税区分「立替仕」は、原価管理GO! では課税区分として扱われるが通常転記、完成振替ともに対象外で出力される</p>	
21	借方消費税金額	13	数字	<p>●経理方式が「税抜」「税込」に関わらず税区分ごとに下記出力 ○仕入伝票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 消費税金額 非課仕: 「0」 対象外: 「0」 完課仕: 「0」 課仕返: 消費税金額 不明 : 「0」 立替仕: 「0」</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 消費税金額 非課仕: 「0」 対象外: 「0」 完課仕: 消費税金額 課仕返: 消費税金額 不明 : 「0」 立替仕: 「0」 ※「外税伝票計」は「0」(消費税は「金額」に出力される)</p>	<p>●原価科目 集計した通常転記の借方消費税を下記のとおり出力 ●売上科目 集計した通常転記の貸方消費税を下記のとおり出力 ・税抜経理の場合 ○原価科目 税区分 出力する金額 課税仕: 「0」 非課仕: 「0」 対象外: 「0」 完課仕: 消費税金額 課仕返: 「0」 不明 : 「0」 立替仕: 「0」</p> <p>○売上科目 「0」</p> <p>・税込経理の場合 ○原価科目 税区分 出力する金額 課税仕: 「0」 非課仕: 「0」</p>

			<p>○支払伝票 「0」</p> <p>○売上傳票 「0」</p> <p>○入金伝票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 非課仕:「0」 対象外:「0」 完課仕:「0」 課仕返:消費税金額 不明 :「0」</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 非課仕:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 課仕返:消費税金額 不明 :「0」</p> <p>○振替形式伝票の借方 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 課税売:消費税金額 非課仕:「0」 非課売:「0」 対象外:「0」 完課仕:「0」 完課売:「0」 課仕返:消費税金額 課売返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 課税売:消費税金額 非課仕:「0」 非課売:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 完課売:消費税金額 課仕返:消費税金額 課売返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」</p>	<p>対象外:「0」 完課仕:消費税金額 課仕返:「0」 不明 :「0」 立替仕:「0」</p> <p>○売上科目 「0」</p>	
22	貸方部門コード	4	文字	<p>●部門の転記先設定に従い出力 ●基本設定 > 通常転記「部門」の設定により出力 ・「損益科目のみ」 ○仕入伝票 空白 ○支払伝票 損益科目のみ「伝票部門」を出力、他の科目は空白 ○売上傳票 損益科目のみ「伝票部門」を出力、他の科目は空白 ○入金伝票 空白 ○振替形式 「貸方科目」が損益科目なら「伝票部門」を出力、他の科目は空白</p> <p>・「全科目」 ○仕入伝票 「仕入先部門」を出力、「仕入先部門」がない場合は「伝票部門」を出力 ○支払伝票 全科目に「伝票部門」を出力 ○売上傳票 全科目に「伝票部門」を出力</p>	<p>●部門の転記先設定に従い出力 ●基本設定 > 通常転記「部門」の設定により出力 ・「損益科目のみ」:振替元の部門を出力 ・「全科目」:振替元の部門を出力 ・「出力しない」:空白</p>

				<p>○入金伝票 「得意先部門」を出力、「得意先部門」がない場合は「伝票部門」を出力 ○振替形式 「貸方科目」の「伝票部門」を出力</p> <p>・「出力しない」 全伝票空白</p> <p>※伝票部門が未入力の場合は空白を出力 ※伝票計の消費税:伝票部門はなし ※仕入先(得意先)部門:伝票ヘッダー部の部門 ※伝票部門:伝票の各入力行の部門 ※ 損益科目:科目分類が「売上高」「原価」「販管費」 「営業外収益」「営業外費用」「仮受消費税」「仮払消費税」の科目</p>	
23	貸方勘定科目コード	4	文字	<p>●科目、得意先、仕入先の転記先設定に従い出力 仕入伝票:「仕入先」の転記先 支払伝票:「科目」の通常転記先 売上伝票:「科目」の通常転記先 入金伝票:「得意先」の転記先 振替形式:「貸方科目」の通常転記先 ●完成振替後は完成振替転記先を出力 ※通常転記先のみ設定している場合は通常転記先科目に転記</p>	<p>●科目の転記先設定に従い出力 原価科目:借方科目(通常転記先) 売上科目:貸方科目(完成振替転記先) ※借方科目:通常転記で借方に出力される科目(原価科目) 貸方科目:通常転記で貸方に出力される科目(売上科目)</p>
24	貸方補助科目コード	4	文字	<p>●科目、得意先、仕入先の転記先設定に従い出力 仕入伝票:「仕入先」の転記先 支払伝票:「科目」の通常転記先 売上伝票:「科目」の通常転記先 入金伝票:「得意先」の転記先 振替形式:「貸方科目」の通常転記先 ●完成振替後は完成振替転記先を出力 ●転記先に補助科目がない場合は空白</p>	<p>●科目の転記先設定に従い出力 原価科目:借方科目(通常転記先) 売上科目:貸方科目(完成振替転記先) ●転記先に補助科目がない場合は空白</p>
25	貸方税区分コード	4	数字	<p>●税区分の転記先設定に従い出力 仕入伝票:「対象外」 支払伝票:「通常転記」の税区分 売上伝票:「通常転記」の税区分 入金伝票:「対象外」 振替形式貸方:科目の税区分に応じた「通常転記」の税区分 ●外税伝票計の消費税:税区分は台帳「科目-消費税」の登録に従う</p>	<p>●税区分の転記先設定に従い出力 原価科目:「振替元」の税区分 売上科目:「振替先」の税区分</p>
26	貸方税率	2	数字	●伝票の消費税率を出力	●伝票の消費税率を出力
27	貸方税率種別	1	数字	●伝票の税区分に従い出力 0:標準 1:軽減税率	●伝票の税区分に従い出力 0:標準 1:軽減税率
28	貸方事業区分コード	4	数字	●空白	●空白
29	貸方消費税計算	1	数字	<p>●経理方式「税抜」「税込」により下記出力 ・税抜経理 原価管理GO! の伝票税区分が内税:「2」 原価管理GO! の伝票税区分が明細単位:「1」 他:「0」 ・税込経理 前項で消費税金額を出力する行:「1」 他:「0」</p>	●経理方式「税抜」「税込」に関わらず下記出力 前項で消費税金額を出力する行:「1」 他:「0」
30	貸方端数処理	1	数字	●伝票の税端数を出力 0:切上げ1:四捨五入2:切捨て	●伝票の税端数を出力 0:切上げ1:四捨五入2:切捨て
31	貸方取引先コード	13	文字	<p>●基本設定>「取引先コード」の設定に従う ○出力する 得意先、仕入先の転記先設定で登録された取引先コードを出力する コード登録がない場合は出力しない ○出力しない 出力しない ※「プロジェクトコード」がなくても登録可能</p>	●出力しない
32	貸方本体金額	13	数字	<p>●経理方式が「税抜」「税込」により税区分ごとに下記出力 ・税抜経理の場合 ○仕入伝票 税込金額 ○支払伝票 (通常転記)</p>	<p>●原価科目 通常転記の借方金額を工事>科目(補助科目)>部門(明細)>税区分ごとに集計して出力 集計した借方金額を下記の通り出力 ●売上科目 通常転記の貸方金額を工事>科目(補助科目)>部門(明細)>税区分ごとに集計して出力</p>

			<p>税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 非課仕: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税込金額 課仕返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 非課仕: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税抜外税、税込内税 抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額</p> <p>○売上傳票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税売: 税抜外税、税込内税 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課売: 税込金額 課売返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税売: 税抜外税、税込内税 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課売: 税抜外税、税込内税 課売返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額</p> <p>○入金伝票 税込金額</p> <p>○振替形式伝票の貸方 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 課税売: 税抜外税、税込内税 非課仕: 税込金額 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税込金額 完課売: 税込金額 課仕返: 税抜外税、税込内税 課売返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 課税売: 税抜外税、税込内税 非課仕: 税込金額 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税込金額 完課売: 税込金額 課仕返: 税抜外税、税込内税 課売返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額</p> <p>・税込経理の場合 すべて「税込」で出力 ※税抜外税: 明細行が外税なら税抜金額で出力 ※税込内税: 明細行が内税なら税込金額で出力</p>	<p>集計した貸方金額を下記のとおり出力 ・税抜経理の場合 ○原価科目 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜金額 非課仕: 税込金額 対象外: 税込金額 税込金額 課仕返: 税抜金額 不明 : 税込金額 税込金額</p> <p>○売上科目 税区分: 出力する金額 課税売: 税抜金額 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課売: 税込金額 課売返: 税抜金額 不明 : 税込金額</p> <p>・税込経理の場合 完課売は「税込内税」、その他すべて「税込金額」 ※税区分「完課仕」「完課売」は、通常転記では対象外で出力されるが、完成振替では課税区分で振替される ※ 税区分「立替仕」は、原価管理GO! では課税区分として扱われるが通常転記、完成振替ともに対象外で出力される</p>
--	--	--	---	---

33	貸方消費税金額	13	数字 ● 経理方式が「税抜」「税込」に関わらず税区分ごとに 下記出力 ○仕入伝票 「0」 ○支払伝票 (通常転記) 税区分 出力する金額 消費税金額 対象外:「0」 完課仕:「0」 課仕返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」 (完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 非課仕:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 課仕返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」 ○売上传票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税売:消費税金額 非課売:「0」 対象外:「0」 完課売:「0」 課売返:消費税金額 不明 :「0」 (完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税売:消費税金額 非課売:「0」 対象外:「0」 完課売:消費税金額 課売返:消費税金額 不明 :「0」 ※「外税伝票計」は「0」(消費税は「金額」に出力される) ○入金伝票 「0」 ○振替形式伝票の貸方 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 課税売:消費税金額 非課仕:「0」 非課売:「0」 対象外:「0」 完課仕:「0」 完課売:「0」 課仕返:消費税金額 課売返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」 (完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 課税売:消費税金額 非課仕:「0」 非課売:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 完課売:消費税金額 課仕返:消費税金額 課売返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」	●原価科目 集計した通常転記の借方消費税を下記のとおり出力 ●売上科目 集計した通常転記の貸方消費税を下記のとおり出力 ・税抜経理の場合 ○原価科目 「0」 ○売上科目 税区分 出力する金額 課税売:「0」 非課売:「0」 対象外:「0」 完課売:消費税金額 課売返:「0」 不明 :「0」 ・税込経理の場合 ○原価科目 「0」 ○売上科目 税区分 出力する金額 課税売:「0」 非課売:「0」 対象外:「0」 完課売:消費税金額 課売返:「0」 不明:「0」
34	摘要	40	文字 ● 基本設定 > 通常転記「摘要転記内容」の選択項目が 転記される ●各項目間には半角スペースが入る ●合計転記も明細転記の設定に従うが、「伝票番号」 「商品」「仕様」は出力しない	●基本設定 > 完成振替「摘要転記内容」の選択 項目が転記される ●各項目間には半角スペースが入る ●40桁を超えた場合は「転記画面の伝票摘要」 の文字数を少なく転記する

B-8 勘定奉行i10/i11[個別原価管理編]

順	項目名	桁数 (半角)	型	通常転記	完成振替
1	伝票区切	1	文字	●伝票の先頭行のみ「*」、2行目以降空白 ※ただし先頭行の「*」は「」で囲まない	●伝票の先頭行のみ「*」、2行目以降空白 ※ただし先頭行の「*」は「」で囲まない
2	伝票区分コード	2	数字	●空白(通常伝票)	●空白(通常伝票)
3	用途区分	1	数字	●「0」を出力(振替伝票)	●「0」を出力(振替伝票)
4	部門指定方法	1	数字	●「1」を出力(勘定科目単位)	●「1」を出力(勘定科目単位)
5	伝票部門コード	4	文字	●空白	●空白
6	日付	11	文字	●西暦で出力 出力例)西暦:20110101 ●明細転記:伝票日付を出力 ●合計転記:集計期間の終了日を出力 ●「同一日付指定」の場合はその日付を出力	●西暦で出力 出力例)西暦:20110101 ●工事の完成日(工事登録の「進捗」日付)を出力 ●「同一日付指定」の場合はその日付を出力
7	整理区分	1	数字	●「0」を出力(日常仕訳)	●「0」を出力(日常仕訳)
8	伝票No	15	数字	●「書出順」の指定に従う ●転記のつど「伝票番号」に入力した数字から昇順に出力 ●仕入>支払>査定作成>売上>入金>入金振替伝票の順で付番 ●「転記単位」設定が「工事別仕入先(得意先)毎」の場合は、伝票種類>工事>仕入先(得意先)>科目>部門(ヘッダー)>部門(明細)>工種>税区分ごとに集計して付番 ●250行を超えた行から別な伝票にする ●分割した伝票の伝票番号は別に付ける ※伝票番号は重複可	●転記のつど「伝票番号」に入力した数字から昇順に出力 ●原価科目>売上科目の順で付番 ●工事毎に工事コード昇順で付番 ●250行を超えた行から別な伝票にする ●分割した伝票の伝票番号は別に付ける ※伝票番号は重複可
9	伝票入力形式	1	数字	●「0」を出力(通常入力)	●「0」を出力(通常入力)
10	借方部門コード	4	文字	●部門の転記先設定に従い出力 ●基本設定>通常転記「部門」の設定により出力 ・「損益科目のみ」 ○仕入伝票 損益科目のみ「伝票部門」を出力、他の科目は空白 ○支払伝票 空白 ○売上传票 空白 ○入金伝票 損益科目のみ「伝票部門」を出力、他の科目は空白 ○振替形式 「借方科目」が損益科目なら「伝票部門」を出力、他の科目は空白 ・「全科目」 ○仕入伝票 全科目に「伝票部門」を出力 ○支払伝票 「仕入先部門」を出力、「仕入先部門」がない場合は「伝票部門」を出力 ○売上传票 「得意先部門」を出力、「得意先部門」がない場合は「伝票部門」を出力 ○入金伝票 全科目に「伝票部門」を出力、振替形式「借方科目」の「伝票部門」を出力 ・「出力しない」 全伝票空白 ※伝票部門が未入力の場合は空白を出力 ※伝票計の消費税:伝票部門はなし ※仕入先(得意先)部門:伝票ヘッダー部の部門 ※伝票部門:伝票の各入力行の部門 ※損益科目:科目分類が「売上高」「原価」「販管費」「営業外収益」「営業外費用」「仮受消費税」「仮払消費税」の科目	●部門の転記先設定に従い出力 ●基本設定>通常転記「部門」の設定により出力 ・「損益科目のみ」:振替元の部門を出力 ・「全科目」:振替元の部門を出力 ・「出力しない」:空白
11	借方勘定科目コード	4	文字	●科目、得意先、仕入先の転記先設定に従い出力 仕入伝票:「科目」の転記先 支払伝票:「仕入先」の通常転記先	●科目の転記先設定に従い出力 原価科目:借方科目(完成振替転記先) 売上科目:貸方科目(通常転記先)

				売上传票:「得意先」の通常転記先 入金伝票:「科目」の転記先 振替形式:「借方科目」の通常転記先 ●完成振替後は完成振替転記先を出力 ※通常転記先のみ設定している場合は通常転記先科目に転記	※借方科目:通常転記で借方に出力される科目(原価科目) 貸方科目:通常転記で貸方に出力される科目(売上科目)
12	借方補助科目コード	4	文字	●科目、得意先、仕入先の転記先設定に従い出力 仕入伝票:「科目」の転記先 支払伝票:「仕入先」の通常転記先 売上传票:「得意先」の通常転記先 入金伝票:「科目」の転記先 振替形式:「借方科目」の通常転記先 ●完成振替後は完成振替転記先を出力 ●転記先に補助科目がない場合は空白	●科目の転記先設定に従い出力 原価科目:借方科目(完成振替転記先) 売上科目:貸方科目(通常転記先) ●転記先に補助科目がない場合は空白
13	借方税区分コード	4	数字	●税区分の転記先設定に従い出力 仕入伝票:「通常転記」の税区分 支払伝票:「対象外」 売上传票:「対象外」 入金伝票:「通常転記」の税区分 振替形式:借方科目の税区分に応じた「通常転記」の税区分 ●外税伝票計の消費税:税区分は台帳「科目-消費税」の登録に従う	●税区分の転記先設定に従い出力 原価科目:「振替先」の税区分 売上科目:「振替元」の税区分
14	借方税率	2	数字	●伝票の消費税率を出力	●伝票の消費税率を出力
15	借方税率種別	1	数字	●伝票の税区分に従い出力 0:標準 1:軽減税率	●伝票の税区分に従い出力 0:標準 1:軽減税率
16	借方事業区分コード	4	数字	●空白	●空白
17	借方消費税計算	1	数字	●経理方式「税抜」「税込」により下記出力 ・税抜経理 原価管理GO! の伝票税区分が内税:「2」 原価管理GO! の伝票税区分が明細単位:「1」 他:「0」 ・税込経理 前項で消費税金額を出力する行:「1」 他:「0」	●経理方式「税抜」「税込」に関わらず下記出力 前項で消費税金額を出力する行:「2」 他:「0」
18	借方端数処理	1	数字	●伝票の税端数を出力 0:切上げ1:四捨五入2:切捨て	●伝票の税端数を出力 0:切上げ1:四捨五入2:切捨て
19	借方取引先コード	13	文字	●基本設定>「取引先コード」の設定に従う ○出力する 得意先、仕入先の転記先設定で登録された取引先コードを出力する コード登録がない場合は出力しない ○出力しない 出力しない ※「プロジェクトコード」がなくても登録可能	●出力しない
20	借方プロジェクトコード	11	文字	●環境設定の「工事コード桁数」、転記設定の「枝番を出力する」オプションに従う ・枝番を出力する:ON 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分(最大8桁)に「-」を追加し工事コード枝番2桁出力 ・枝番を出力する:OFF 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分出力 ●「入庫」:基本設定「入庫」で指定したコードで出力 ※個別原価管理編の科目属性にかかわらず工事出力可	●環境設定の「工事コード桁数」、転記設定の「枝番を出力する」オプションに従う ・枝番を出力する:ON 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分(最大8桁)に「-」を追加し工事コード枝番2桁出力 ・枝番を出力する:OFF 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分出力
21	借方サブプロジェクトコード	4	文字	●工種の転記先設定に従い出力 ●工種がない場合は空白 ※「プロジェクトコード」がなくても登録可能	●工種の転記先設定に従い出力 ●工種がない場合は空白
22	借方本体金額	13	数字	●経理方式が「税抜」「税込」により税区分ごとに下記出力 ・税抜経理の場合 ○仕入伝票(通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:税抜外税、税込内税 非課税:税込金額 対象外:税込金額 完課仕:税込金額 外税、税込内税	●原価科目 通常転記の借方金額を工事>科目(補助科目)>部門(明細)>税区分ごとに集計して出力 集計した借方金額を下記のとおり出力 ●売上科目 通常転記の貸方金額を工事>科目(補助科目)>部門(明細)>税区分ごとに集計して出力 集計した貸方金額を下記のとおり出力

			<p>不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 非課仕: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税抜外税、税込内税 課仕返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額</p> <p>○支払伝票 税込金額</p> <p>○売上傳票 税込金額</p> <p>○入金伝票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 非課仕: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税込金額 課仕返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 非課仕: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税抜外税、税込内税 課仕返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額</p> <p>○振替形式伝票の借方 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 課税売: 税抜外税、税込内税 非課仕: 税込金額 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税込金額 完課売: 税込金額 課仕返: 税抜外税、税込内税 課売返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 課税売: 税抜外税、税込内税 非課仕: 税込金額 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税抜外税、税込内税 完課売: 税抜外税、税込内税 課仕返: 税抜外税、税込内税 課売返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額</p> <p>・税込経理の場合 すべて「税込」で出力 ※税抜外税: 明細行が外税なら税抜金額で出力 ※税込内税: 明細行が内税なら税込金額で出力</p>	<p>・税抜経理の場合 ○原価科目 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜金額 非課仕: 税込金額 対象外: 税 完課仕: 税込内税</p> <p>課仕返: 税抜金額 不明 : 込金額 立替仕: 税込金額</p> <p>○売上科目 税区分 出力する金額 課税売: 税抜金額 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課売: 税込金額 課売返: 税抜金額 不明 : 込金額</p> <p>・税込経理の場合 完課仕は「税込内税」、その他すべて「税込金額」 ※税区分「完課仕」「完課売」は、通常転記では対象外で出力されるが、完成振替では課税区分で振替される ※ 税区分「立替仕」は、原価管理GO! では課税区分として扱われるが通常転記、完成振替ともに対象外で出力される</p>	
23	借方消費税金額	13	数字	<p>●経理方式が「税抜」「税込」に関わらず税区分ごとに下記出力 ○仕入伝票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 消費税金額</p>	<p>●原価科目 集計した通常転記の借方消費税を下記のとおり出力 ●売上科目 集計した通常転記の貸方消費税を下記のとおり出力</p>

			<p>非課仕:「0」 対象外:「0」 完課仕:「0」 課仕返:消費税金額 立替仕:「0」</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 非課仕:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 課仕返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」 ※「外税伝票計」は「0」(消費税は「金額」に出力される)</p> <p>○支払伝票 「0」</p> <p>○売上伝票 「0」</p> <p>○入金伝票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 非課仕:「0」 対象外:「0」 完課仕:「0」 課仕返:消費税金額 不明 :「0」</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 非課仕:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 課仕返:消費税金額 不明 :「0」</p> <p>○振替形式伝票の借方 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 課税売:消費税金額 非課仕:「0」 非課売:「0」 対象外:「0」 完課仕:「0」 完課売:「0」 課仕返:消費税金額 課売返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 課税売:消費税金額 非課仕:「0」 非課売:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 完課売:消費税金額 課仕返:消費税金額 課売返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」</p>	<p>不明 :「0」</p> <p>・税抜経理の場合 ○原価科目 税区分 出力する金額 課税仕:「0」 非課仕:「0」 対象外:「0」</p> <p>完課仕:消費税金額 課仕返:「0」 不明 :「0」 立替仕:「0」</p> <p>○売上科目 「0」</p> <p>・税込経理の場合 ○原価科目 税区分 出力する金額 課税仕:「0」 非課仕:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 課仕返:「0」 不明 :「0」 立替仕:「0」</p> <p>○売上科目 「0」</p>	
24	貸方部門コード	4	文字	<p>●部門の転記先設定に従い出力 ●基本設定 > 通常転記「部門」の設定により出力 ・「損益科目のみ」 ○仕入伝票 空白</p>	<p>●部門の転記先設定に従い出力 ●基本設定 > 通常転記「部門」の設定により出力 ・「損益科目のみ」:振替元の部門を出力 ・「全科目」:振替元の部門を出力 ・「出力しない」:空白</p>

				<p>○支払伝票 損益科目のみ「伝票部門」を出力、他の科目は空白</p> <p>○売上传票 損益科目のみ「伝票部門」を出力、他の科目は空白</p> <p>○入金伝票</p> <p>空白</p> <p>○振替形式 「貸方科目」が損益科目なら「伝票部門」を出力、他の科目は空白</p> <p>・「全科目」</p> <p>○仕入伝票 「仕入先部門」を出力、「仕入先部門」がない場合は「伝票部門」を出力</p> <p>○支払伝票 全科目に「伝票部門」を出力</p> <p>○売上传票 全科目に「伝票部門」を出力</p> <p>○入金伝票 「得意先部門」を出力、「得意先部門」がない場合は「伝票部門」を出力</p> <p>○振替形式 「貸方科目」の「伝票部門」を出力</p> <p>・「出力しない」 全伝票空白</p> <p>※伝票部門が未入力の場合は空白を出力 ※伝票計の消費税:伝票部門はなし ※仕入先(得意先)部門:伝票ヘッダー部の部門 ※伝票部門:伝票の各入力行の部門 ※ 損益科目:科目分類が「売上高」「原価」「販管費」「営業外収益」「営業外費用」「仮受消費税」「仮払消費税」の科目</p>	
25	貸方勘定科目コード	4	文字	<p>●科目、得意先、仕入先の転記先設定に従い出力</p> <p>仕入伝票:「仕入先」の転記先</p> <p>支払伝票:「科目」の通常転記先</p> <p>売上传票:「科目」の通常転記先</p> <p>入金伝票:「得意先」の転記先</p> <p>振替形式:「貸方科目」の通常転記先</p> <p>●完成振替後は完成振替転記先を出力</p> <p>※通常転記先のみ設定している場合は通常転記先科目に転記</p>	<p>●科目の転記先設定に従い出力</p> <p>原価科目:借方科目(通常転記先)</p> <p>売上科目:貸方科目(完成振替転記先)</p> <p>※借方科目:通常転記で借方に出力される科目(原価科目)</p> <p>貸方科目:通常転記で貸方に出力される科目(売上科目)</p>
26	貸方補助科目コード	4	文字	<p>●科目、得意先、仕入先の転記先設定に従い出力</p> <p>仕入伝票:「仕入先」の転記先</p> <p>支払伝票:「科目」の通常転記先</p> <p>売上传票:「科目」の通常転記先</p> <p>入金伝票:「得意先」の転記先</p> <p>振替形式:「貸方科目」の通常転記先</p> <p>●完成振替後は完成振替転記先を出力</p> <p>●転記先に補助科目がない場合は空白</p>	<p>●科目の転記先設定に従い出力</p> <p>原価科目:借方科目(通常転記先)</p> <p>売上科目:貸方科目(完成振替転記先)</p> <p>●転記先に補助科目がない場合は空白</p>
27	貸方税区分コード	4	数字	<p>●税区分の転記先設定に従い出力</p> <p>仕入伝票:「対象外」</p> <p>支払伝票:「通常転記」の税区分</p> <p>売上传票:「通常転記」の税区分</p> <p>入金伝票:「対象外」</p> <p>振替形式貸方:科目の税区分に応じた「通常転記」の税区分</p> <p>●外税伝票計の消費税:税区分は台帳「科目-消費税」の登録に従う</p>	<p>●税区分の転記先設定に従い出力</p> <p>原価科目:「振替元」の税区分</p> <p>売上科目:「振替先」の税区分</p>
28	貸方税率	2	数字	●伝票の消費税率を出力	●伝票の消費税率を出力
29	貸方税率種別	1	数字	●伝票の税区分に従い出力 0:標準 1:軽減税率	●伝票の税区分に従い出力 0:標準 1:軽減税率
30	貸方事業区分コード	4	数字	●空白	●空白
31	貸方消費税計算	1	数字	<p>●経理方式「税抜」「税込」により下記出力</p> <p>・税抜経理 原価管理GO! の伝票税区分が内税:「2」 原価管理GO! の伝票税区分が明細単位:「1」 他:「0」</p> <p>・税込経理 前項で消費税金額を出力する行:「1」 他:「0」</p>	●経理方式「税抜」「税込」に関わらず下記出力 前項で消費税金額を出力する行:「1」 他:「0」
32	貸方端数処理	1	数字	●伝票の税端数を出力 0:切上げ1:四捨五入2:切捨て	●伝票の税端数を出力 0:切上げ1:四捨五入2:切捨て

33	貸方取引先コード	13	文字	<ul style="list-style-type: none"> ●基本設定>「取引先コード」の設定に従う ○出力する 得意先、仕入先の転記先設定で登録された取引先コードを出力する コード登録がない場合は出力しない ○出力しない 出力しない ※「プロジェクトコード」がなくても登録可能 	●出力しない
34	貸方プロジェクトコード	11	文字	<ul style="list-style-type: none"> ●環境設定の「工事コード桁数」、転記設定の「枝番を出力する」オプションに従う ・枝番を出力する:ON 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分(最大8桁)に「-」を追加し工事コード枝番2桁出力 ・枝番を出力する:OFF 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分出力 ●「入庫」:基本設定「入庫」で指定したコードで出力 ※個別原価管理編の科目属性にかかわらず工事出力可 	<ul style="list-style-type: none"> ●環境設定の「工事コード桁数」、転記設定の「枝番を出力する」オプションに従う ・枝番を出力する:ON 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分(最大8桁)に「-」を追加し工事コード枝番2桁出力 ・枝番を出力する:OFF 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分出力
35	貸方サブプロジェクトコード	4	文字	<ul style="list-style-type: none"> ●工種の転記先設定に従い出力 ●工種がない場合は空白 ※「プロジェクトコード」がなくても登録可能 	<ul style="list-style-type: none"> ●工種の転記先設定に従い出力 ●工種がない場合は空白
36	貸方本体金額	13	数字	<ul style="list-style-type: none"> ●経理方式が「税抜」「税込」により税区分ごとに下記出力 ・税抜経理の場合 ○仕入伝票 税込金額 ○支払伝票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 非課税: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税込金額 課仕返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額 (完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 非課税: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税抜外税、税込内税 課仕返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額 ○売上傳票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税売: 税抜外税、税込内税 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課売: 税込金額 課売返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 (完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税売: 税抜外税、税込内税 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課売: 税抜外税、税込内税 課売返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 ○入金伝票 税込金額 ○振替形式伝票の貸方 (通常転記) 	<ul style="list-style-type: none"> ●原価科目 通常転記の借方金額を工事>科目(補助科目)>部門(明細)>税区分ごとに集計して出力 集計した借方金額を下記のとおり出力 ●売上科目 通常転記の貸方金額を工事>科目(補助科目)>部門(明細)>税区分ごとに集計して出力 集計した貸方金額を下記のとおり出力 ・税抜経理の場合 ○原価科目 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜金額 非課税: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税込金額 課仕返: 税抜金額 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額 ○売上科目 税区分: 出力する金額 課税売: 税抜金額 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課売: 税込金額 課売返: 税抜金額 不明 : 税込金額 ・税込経理の場合 完課売は「税込内税」、その他すべて「税込金額」 ※税区分「完課仕」「完課売」は、通常転記では対象外で出力されるが、完成振替では課税区分で振替される ※ 税区分「立替仕」は、原価管理GO! では課税区分として扱われるが通常転記、完成振替ともに対象外で出力される

			<p>税区分 出力する金額 課税仕: 税 抜外税、税込内 課税売: 税抜外税、税込内 非課仕: 税込金額 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税込 金額 完課売: 税込金額 課仕返: 税抜外税、税込内税 課売返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 課税売: 税抜外税、税込内税 非課仕: 税込金額 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税込金額 完課売: 税込金額 課仕返: 税抜外税、税込内税 課売返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額</p> <p>・税込経理の場合 すべて「税込」で出力 ※税抜外税: 明細行が外税なら税抜金額で出力 ※税込内税: 明細行が内税なら税込金額で出力</p>		
37	貸方消費税金額	13	数字	<p>●経理方式が「税抜」「税込」に関わらず税区分ごとに 下記出力 ○仕入伝票 「0」</p> <p>○支払伝票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 消費税金額 非課仕: 「0」 対象外: 「0」 完課仕: 「0」 課仕返: 消費税金額 不明 : 「0」 立替仕: 「0」</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 消費税金額 非課仕: 「0」 対象外: 「0」 完課仕: 消費税金額 課仕返: 消費税金額 不明 : 「0」 立替仕: 「0」</p> <p>○売上伝票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税売: 消費税金額 非課売: 「0」 対象外: 「0」 完課売: 「0」</p> <p>課売返: 消費税金額 不明 : 「0」</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税売: 消費税金額 非課売: 「0」 対象外: 「0」 完課売: 消費税金額 課売返: 消費税金額 不明 : 「0」</p>	<p>●原価科目 集計した通常転記の借方消費税を下記のとおり出力 ●売上科目 集計した通常転記の貸方消費税を下記のとおり出力 ・税抜経理の場合 ○原価科目 「0」</p> <p>○売上科目 税区分 出力する金額 課税売: 「0」 非課売: 「0」 対象外: 「0」 完課売: 消費税金額 課売返: 「0」 不明 : 「0」</p> <p>・税込経理の場合 ○原価科目 「0」</p> <p>○売上科目 税区分 出力する金額 課税売: 「0」 非課売: 「0」 対象外: 「0」 完課売: 消費税金額 課売返: 「0」 不明: 「0」</p>

			<p>※「外税伝票計」は「0」(消費税は「金額」に出力される)</p> <p>○入金伝票 「0」</p> <p>○振替形式伝票の貸方</p> <p>(通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 課税売:消費税金額 非課仕:「0」 非課売:「0」 対象外:「0」 完課仕:「0」 完課売:「0」 課仕返:消費税金額 課売返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 課税売:消費税金額 非課仕:「0」 非課売:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 完課売:消費税金額 課仕返:消費税金額 課売返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」</p>		
38	摘要	40	文字	<p>●基本設定>通常転記「摘要転記内容」の選択項目が転記される</p> <p>●各項目間には半角スペースが入る</p> <p>●合計転記も明細転記の設定に従うが、「伝票番号」「商品」「仕様」は出力しない</p>	<p>●基本設定>完成振替「摘要転記内容」の選択項目が転記される</p> <p>●各項目間には半角スペースが入る</p> <p>●40桁を超えた場合は「転記画面の伝票摘要」の文字数を少なく転記する</p>

B-7 勘定奉行i10/i11[建設業編]

順	項目名	桁数 (半角)	型	通常転記	完成振替
1	伝票区切	1	文字	●伝票の先頭行のみ「*」、2行目以降空白 ※ただし先頭行の「*」は「」で囲まない	●伝票の先頭行のみ「*」、2行目以降空白 ※ただし先頭行の「*」は「」で囲まない
2	伝票区分コード	2	数字	●空白(通常伝票)	●空白(通常伝票)
3	用途区分	1	数字	●「0」を出力(振替伝票)	●「0」を出力(振替伝票)
4	部門指定方法	1	数字	●「1」を出力(勘定科目単位)	●「1」を出力(勘定科目単位)
5	伝票部門コード	4	文字	●空白	●空白
6	日付	11	文字	●西暦で出力 出力例)西暦:20110101 ●明細転記:伝票日付を出力 ●合計転記:集計期間の終了日を出力 ●「同一日付指定」の場合はその日付を出力	●西暦で出力 出力例)西暦:20110101 ●工事の完成日(工事登録の「進捗」日付)を出力 ●「同一日付指定」の場合はその日付を出力
7	整理区分	1	数字	●「0」を出力(日常仕訳)	●「0」を出力(日常仕訳)
8	伝票No	15	数字	●「書出順」の指定に従う ●転記のつど「伝票番号」に入力した数字から昇順に出力 ●仕入>支払>査定作成>売上>入金>入金振替伝票の順で付番 ●「転記単位」設定が「工事別仕入先(得意先)毎」の場合は、伝票種類>工事>仕入先(得意先)>科目>部門(ヘッダー)>部門(明細)>工種>税区分ごとに集計して付番 ●250行を超えた行から別の伝票を作成する ●分割した伝票の伝票番号は同じ番号を付ける ※伝票番号は重複可	●転記のつど「伝票番号」に入力した数字から昇順に出力 ●原価科目>売上科目の順で付番 ●工事毎に工事コード昇順で付番 ●250行を超えた行から別の伝票を作成する ●分割した伝票の伝票番号は同じ番号を付ける ※伝票番号は重複可
9	伝票入力形式	1	数字	●「0」を出力(通常入力)	●「0」を出力(通常入力)
10	借方部門コード	4	文字	●部門の転記先設定に従い出力 ●基本設定>通常転記「部門」の設定により出力 ・「損益科目のみ」 ○仕入伝票 損益科目のみ「伝票部門」を出力、他の科目は空白 ○支払伝票 空白 ○売上伝票 空白 ○入金伝票 損益科目のみ「伝票部門」を出力、他の科目は空白 ○振替形式 「借方科目」が損益科目なら「伝票部門」を出力、他の科目は空白 ・「全科目」 ○仕入伝票 全科目に「伝票部門」を出力 ○支払伝票 「仕入先部門」を出力、「仕入先部門」がない場合は「伝票部門」を出力 ○売上伝票 「得意先部門」を出力、「得意先部門」がない場合は「伝票部門」を出力 ○入金伝票 全科目に「伝票部門」を出力、振替形式「借方科目」の「伝票部門」を出力 ・「出力しない」 全伝票空白 ※伝票部門が未入力の場合は空白を出力 ※伝票計の消費税:伝票部門はなし ※仕入先(得意先)部門:伝票ヘッダー部の部門 ※伝票部門:伝票の各入力行の部門 ※損益科目:科目分類が「売上高」「原価」「販管費」「営業外収益」「営業外費用」「仮受消費税」「仮払消費税」の科目	●部門の転記先設定に従い出力 ●基本設定>通常転記「部門」の設定により出力 ・「損益科目のみ」:振替元の部門を出力 ・「全科目」:振替元の部門を出力 ・「出力しない」:空白

11	借方勘定科目コード	4	文字	<ul style="list-style-type: none"> ●科目、得意先、仕入先の転記先設定に従い出力 仕入伝票:「科目」の転記先 支払伝票:「仕入先」の通常転記先 売上傳票:「得意先」の通常転記先 入金伝票:「科目」の転記先 振替形式:「借方科目」の通常転記先 ●完成振替後は完成振替転記先を出力 ※通常転記先のみ設定している場合は通常転記先科目に転記 	<ul style="list-style-type: none"> ●科目の転記先設定に従い出力 原価科目:借方科目(完成振替転記先) 売上科目:貸方科目(通常転記先) ※借方科目:通常転記で借方に出力される科目(原価科目) 貸方科目:通常転記で貸方に出力される科目(売上科目)
12	借方補助科目コード	4	文字	<ul style="list-style-type: none"> ●科目、得意先、仕入先の転記先設定に従い出力 仕入伝票:「科目」の転記先 支払伝票:「仕入先」の通常転記先 売上傳票:「得意先」の通常転記先 入金伝票:「科目」の転記先 振替形式:「借方科目」の通常転記先 ●完成振替後は完成振替転記先を出力 ●転記先に補助科目がない場合は空白 	<ul style="list-style-type: none"> ●科目の転記先設定に従い出力 原価科目:借方科目(完成振替転記先) 売上科目:貸方科目(通常転記先) ●転記先に補助科目がない場合は空白
13	借方税区分コード	4	数字	<ul style="list-style-type: none"> ●税区分の転記先設定に従い出力 仕入伝票:「通常転記」の税区分 支払伝票:「対象外」 売上傳票:「対象外」 入金伝票:「通常転記」の税区分 振替形式:借方科目の税区分に応じた「通常転記」の税区分 ●外税伝票計の消費税:税区分は台帳「科目-消費税」の登録に従う 	<ul style="list-style-type: none"> ●税区分の転記先設定に従い出力 原価科目:「振替先」の税区分 売上科目:「振替元」の税区分
14	借方税率	2	数字	●伝票の消費税率を出力	●伝票の消費税率を出力
15	借方税率種別	1	数字	●伝票の税区分に従い出力 0:標準 1:軽減税率	●伝票の税区分に従い出力 0:標準 1:軽減税率
16	借方事業区分コード	4	数字	●空白	●空白
17	借方消費税計算	1	数字	<ul style="list-style-type: none"> ●経理方式「税抜」「税込」により下記出力 ・税抜経理 原価管理GO! の伝票税区分が内税:「2」 原価管理GO! の伝票税区分が明細単位:「1」 他:「0」 ・税込経理 前項で消費税金額を出力する行:「1」 他:「0」 	●経理方式「税抜」「税込」に関わらず下記出力 前項で消費税金額を出力する行:「2」 他:「0」
18	借方端数処理	1	数字	●伝票の税端数を出力 0:切上げ1:四捨五入2:切捨て	●伝票の税端数を出力 0:切上げ1:四捨五入2:切捨て
19	借方取引先コード	13	文字	<ul style="list-style-type: none"> ●基本設定>「取引先コード」の設定に従う ○出力する 得意先、仕入先の転記先設定で登録された取引先コードを出力する コード登録がない場合は出力しない ○出力しない 出力しない ※「プロジェクトコード」がなくても登録可能 	●出力しない
20	借方工事コード	11	文字	<ul style="list-style-type: none"> ●環境設定の「工事コード桁数」、転記設定の「枝番を出力する」オプションに従う ・枝番を出力する:ON 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分(最大8桁)に「-」を追加し工事コード枝番2桁出力 ・枝番を出力する:OFF 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分出力 ●「入庫」:基本設定「入庫」で指定したコードで出力 ※個別原価管理編の科目属性にかかわらず工事出力可 	<ul style="list-style-type: none"> ●環境設定の「工事コード桁数」、転記設定の「枝番を出力する」オプションに従う ・枝番を出力する:ON 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分(最大8桁)に「-」を追加し工事コード枝番2桁出力 ・枝番を出力する:OFF 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分出力
21	借方工種コード	4	文字	<ul style="list-style-type: none"> ●工種の転記先設定に従い出力 ●工種がない場合は空白 ※「プロジェクトコード」がなくても登録可能 	<ul style="list-style-type: none"> ●工種の転記先設定に従い出力 ●工種がない場合は空白

22	借方本体金額	13	<p>数字 ●経理方式が「税抜」「税込」により税区分ごとに下記出力</p> <p>・税抜経理の場合</p> <p>○仕入伝票 (通常転記)</p> <p>税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 非課税: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税込金額 外税、税込内税</p> <p>不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額</p> <p>(完成振替後の通常転記)</p> <p>税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 税込金額 非課税: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税抜外税、税込内税 課仕返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額</p> <p>○支払伝票 税込金額</p> <p>○売上伝票 税込金額</p> <p>○入金伝票 (通常転記)</p> <p>税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 非課税: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税込金額 課仕返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額</p> <p>(完成振替後の通常転記)</p> <p>税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 非課税: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税抜外税、税込内税 課仕返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額</p> <p>○振替形式伝票の借方 (通常転記)</p> <p>税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 課税売: 税抜外税、税込内税 非課税: 税込金額 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税込金額 完課売: 税込金額 課仕返: 税抜外税、税込内税 課売返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額</p> <p>(完成振替後の通常転記)</p> <p>税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 課税売: 税抜外税、税込内税 非課税: 税込金額 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税抜外税、税込内税 完課売: 税抜外税、税込内税 課仕返: 税抜外税、税込内税 課売返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額</p> <p>・税込経理の場合 すべて「税込」で出力 ※税抜外税: 明細行が外税なら税抜金額で出力 ※税込内税: 明細行が内税なら税込金額で出力</p>	<p>●原価科目 通常転記の借方金額を工事>科目(補助科目)>部門(明細)>税区分ごとに集計して出力 集計した借方金額を下記のとおり出力</p> <p>●売上科目 通常転記の貸方金額を工事>科目(補助科目)>部門(明細)>税区分ごとに集計して出力</p> <p>集計した貸方金額を下記のとおり出力</p> <p>・税抜経理の場合</p> <p>○原価科目 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜金額 非課税: 税込金額 税込金額 完課仕: 税込内税 課仕返: 税抜金額 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額</p> <p>○売上科目 税区分 出力する金額 課税売: 税抜金額 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課売: 税込金額 課売返: 税抜金額 不明 : 税込金額</p> <p>・税込経理の場合 完課仕は「税込内税」、その他すべて「税込金額」 ※税区分「完課仕」「完課売」は、通常転記では対象外で出力されるが、完成振替では課税区分で振替される ※ 税区分「立替仕」は、原価管理GO! では課税区分として扱われるが通常転記、完成振替ともに対象外で出力される</p>
----	--------	----	--	---

23	借方消費税金額	13	数字 ●経理方式が「税抜」「税込」に関わらず税区分ごとに 下記出力 ○仕入伝票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 非課仕:「0」 対象外:「0」 完課仕:「0」 課仕返:消費税金額 立替仕:「0」 不明 :「0」 (完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 非課仕:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 課仕返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」 ※「外税伝票計」は「0」(消費税は「金額」に出力される) ○支払伝票 「0」 ○売上傳票 「0」 ○入金伝票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 非課仕:「0」 対象外:「0」 完課仕:「0」 課仕返:消費税金額 不明 :「0」 (完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 非課仕:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 課仕返:消費税金額 不明 :「0」 ○振替形式伝票の借方 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 課税売:消費税金額 非課仕:「0」 非課売:「0」 対象外:「0」 完課仕:「0」 完課売:「0」 課仕返:消費税金額 課売返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」 (完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 課税売:消費税金額 非課仕:「0」 非課売:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 完課売:消費税金額 課仕返:消費税金額 課売返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」	●原価科目 集計した通常転記の借方消費税を下記 のとおり出力 ●売上科目 集計した通常転記の貸方消費税を下記 のとおり出力 ・税抜経理の場合 ○原価科目 税区分 出力する金額 課税仕:「0」 非課仕:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 課仕返:「0」 不明 :「0」 立替仕:「0」 ○売上科目 「0」 ・税込経理の場合 ○原価科目 税区分 出力する金額 課税仕:「0」 非課仕:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 課仕返:「0」 不明 :「0」 立替仕:「0」 ○売上科目 「0」
24	貸方部門コード	4	文字 ●部門の転記先設定に従い出力 ●基本設定 > 通常転記「部門」の設定により出力 ・「損益科目のみ」 ○仕入伝票 空白	●部門の転記先設定に従い出力 ●基本設定 > 通常転記「部門」の設定により出力 ・「損益科目のみ」:振替元の部門を出力

				<p>○支払伝票 損益科目のみ「伝票部門」を出力、他の科目は空白</p> <p>○売上传票 損益科目のみ「伝票部門」を出力、他の科目は空白</p> <p>○入金伝票 空白</p> <p>○振替形式 「貸方科目」が損益科目なら「伝票部門」を出力、他の科目は空白</p> <p>・「全科目」</p> <p>○仕入伝票 「仕入先部門」を出力、「仕入先部門」がない場合は「伝票部門」を出力</p> <p>○支払伝票 全科目に「伝票部門」を出力</p> <p>○売上传票 全科目に「伝票部門」を出力</p> <p>○入金伝票 「得意先部門」を出力、「得意先部門」がない場合は「伝票部門」を出力</p> <p>○振替形式 「貸方科目」の「伝票部門」を出力</p> <p>・「出力しない」 全伝票空白</p> <p>※伝票部門が未入力の場合は空白を出力 ※伝票計の消費税:伝票部門はなし ※仕入先(得意先)部門:伝票ヘッダー部の部門 ※伝票部門:伝票の各入力行の部門 ※損益科目:科目分類が「売上高」「原価」「販管費」「営業外収益」「営業外費用」「仮受消費税」「仮払消費税」の科目</p>	<p>・「全科目」:振替元の部門を出力</p> <p>・「出力しない」:空白</p>
25	貸方勘定科目コード	4	文字	<p>●科目、得意先、仕入先の転記先設定に従い出力</p> <p>仕入伝票:「仕入先」の転記先</p> <p>支払伝票:「科目」の通常転記先</p> <p>売上传票:「科目」の通常転記先</p> <p>入金伝票:「得意先」の転記先</p> <p>振替形式:「貸方科目」の通常転記先</p> <p>●完成振替後は完成振替転記先を出力</p> <p>※通常転記先のみ設定している場合は通常転記先科目に転記</p>	<p>●科目の転記先設定に従い出力</p> <p>原価科目:借方科目(通常転記先)</p> <p>売上科目:貸方科目(完成振替転記先)</p> <p>※借方科目:通常転記で借方に出力される科目(原価科目)</p> <p>貸方科目:通常転記で貸方に出力される科目(売上科目)</p>
26	貸方補助科目コード	4	文字	<p>●科目、得意先、仕入先の転記先設定に従い出力</p> <p>仕入伝票:「仕入先」の転記先</p> <p>支払伝票:「科目」の通常転記先</p> <p>売上传票:「科目」の通常転記先</p> <p>入金伝票:「得意先」の転記先</p> <p>振替形式:「貸方科目」の通常転記先</p> <p>●完成振替後は完成振替転記先を出力</p> <p>●転記先に補助科目がない場合は空白</p>	<p>●科目の転記先設定に従い出力</p> <p>原価科目:借方科目(通常転記先)</p> <p>売上科目:貸方科目(完成振替転記先)</p> <p>●転記先に補助科目がない場合は空白</p>
27	貸方税区分コード	4	数字	<p>●税区分の転記先設定に従い出力</p> <p>仕入伝票:「対象外」</p> <p>支払伝票:「通常転記」の税区分</p> <p>売上传票:「通常転記」の税区分</p> <p>入金伝票:「対象外」</p> <p>振替形式貸方:科目の税区分に応じた「通常転記」の税区分</p> <p>●外税伝票計の消費税:税区分は台帳「科目-消費税」の登録に従う</p>	<p>●税区分の転記先設定に従い出力</p> <p>原価科目:「振替元」の税区分</p> <p>売上科目:「振替先」の税区分</p>
28	貸方税率	2	数字	●伝票の消費税率を出力	●伝票の消費税率を出力
29	貸方税率種別	1	数字	●伝票の税区分に従い出力 0:標準 1:軽減税率	●伝票の税区分に従い出力 0:標準 1:軽減税率
30	貸方事業区分コード	4	数字	●空白	●空白
31	貸方消費税計算	1	数字	<p>●経理方式「税抜」「税込」により下記出力</p> <p>・税抜経理 原価管理GO! の伝票税区分が内税:「2」 原価管理GO! の伝票税区分が明細単位:「1」 他:「0」</p> <p>・税込経理 前項で消費税金額を出力する行:「1」 他:「0」</p>	●経理方式「税抜」「税込」に関わらず下記出力 前項で消費税金額を出力する行:「1」 他:「0」
32	貸方端数処理	1	数字	●伝票の税端数を出力 0:切上げ1:四捨五入2:切捨て	●伝票の税端数を出力 0:切上げ1:四捨五入2:切捨て

33	貸方取引先コード	13	文字	<ul style="list-style-type: none"> ●基本設定>「取引先コード」の設定に従う ○出力する 得意先、仕入先の転記先設定で登録された取引先コードを出力する コード登録がない場合は出力しない ○出力しない 出力しない ※「プロジェクトコード」がなくても登録可能 	●出力しない
34	貸方工事コード	11	文字	<ul style="list-style-type: none"> ●環境設定の「工事コード桁数」、転記設定の「枝番を出力する」オプションに従う ・枝番を出力する:ON 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分(最大8桁)に「-」を追加し工事コード枝番2桁出力 ・枝番を出力する:OFF 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分出力 ●「入庫」:基本設定「入庫」で指定したコードで出力 ※個別原価管理編の科目属性にかかわらず工事出力可 	<ul style="list-style-type: none"> ●環境設定の「工事コード桁数」、転記設定の「枝番を出力する」オプションに従う ・枝番を出力する:ON 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分(最大8桁)に「-」を追加し工事コード枝番2桁出力 ・枝番を出力する:OFF 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分出力
35	貸方工種コード	4	文字	<ul style="list-style-type: none"> ●工種の転記先設定に従い出力 ●工種がない場合は空白 ※「プロジェクトコード」がなくても登録可能 	<ul style="list-style-type: none"> ●工種の転記先設定に従い出力 ●工種がない場合は空白
36	貸方本体金額	13	数字	<ul style="list-style-type: none"> ●経理方式が「税抜」「税込」により税区分ごとに下記出力 ・税抜経理の場合 ○仕入伝票 税込金額 ○支払伝票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:税抜外税、税込内税 非課税:税込金額 対象外:税込金額 完課仕:税込金額 課仕返:税抜外税、税込内税 不明 :税込金額 立替仕:税込金額 (完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:税抜外税、税込内税 非課税:税込金額 対象外:税込金額 完課仕:税抜外税、税込内税 課仕返:税抜外税、税込内税 不明 :税込金額 立替仕:税込金額 ○売上傳票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税売:税抜外税、税込内税 非課売:税込金額 対象外:税込金額 完課売:税込金額 課売返:税抜外税、税込内税 不明 :税込金額 (完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税売:税抜外税、税込内税 非課売:税込金額 対象外:税込金額 完課売:税抜外税、税込内税 課売返:税抜外税、税込内税 不明 :税込金額 ○入金伝票 税込金額 ○振替形式伝票の貸方 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:税抜外税、税込内税 	<ul style="list-style-type: none"> ●原価科目 通常転記の借方金額を工事>科目(補助科目)>部門(明細)>税区分ごとに集計して出力 集計した借方金額を下記のとおり出力 ●売上科目 通常転記の貸方金額を工事>科目(補助科目)>部門(明細)>税区分ごとに集計して出力 集計した貸方金額を下記のとおり出力 ・税抜経理の場合 ○原価科目 税区分 出力する金額 課税仕:税抜金額 非課税:税込金額 対象外:税込金額 完課仕:税込金額 課仕返:税抜金額 不明 :税込金額 立替仕:税込金額 ○売上科目 税区分:出力する金額 課税売:税抜金額 非課売:税込金額 対象外:税込金額 完課売:税込金額 課売返:税抜金額 不明 :税込金額 ・税込経理の場合 完課売は「税込内税」、その他すべて「税込金額」 ※税区分「完課仕」「完課売」は、通常転記では対象外で出力されるが、完成振替では課税区分で振替される ※ 税区分「立替仕」は、原価管理GO! では課税区分として扱われるが通常転記、完成振替ともに対象外で出力される

			<p>課税売: 税抜外税、税込内税 非課仕: 税込金額 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税込金額 完課売: 税込金額 課仕返: 税抜外税、税込内税 課売返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 税抜外税、税込内税 課税売: 税抜外税、税込内税 非課仕: 税込金額 非課売: 税込金額 対象外: 税込金額 完課仕: 税込金額 完課売: 税込金額 課仕返: 税抜外税、税込内税 課売返: 税抜外税、税込内税 不明 : 税込金額 立替仕: 税込金額</p> <p>・税込経理の場合 すべて「税込」で出力 ※税抜外税: 明細行が外税なら税抜金額で出力 ※税込内税: 明細行が内税なら税込金額で出力</p>	
37	貸方消費税金額	13	<p>数字 ●経理方式が「税抜」「税込」に関わらず税区分ごとに 下記出力 ○仕入伝票 「0」</p> <p>○支払伝票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 消費税金額 非課仕: 「0」 対象外: 「0」 完課仕: 「0」 課仕返: 消費税金額 不明 : 「0」 立替仕: 「0」</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕: 消費税金額 非課仕: 「0」 対象外: 「0」 完課仕: 消費税金額 課仕返: 消費税金額 不明 : 「0」 立替仕: 「0」</p> <p>○売上伝票 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税売: 消費税金額 非課売: 「0」 対象外: 「0」 完課売: 「0」 課売返: 消費税金額 不明 : 「0」</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税売: 消費税金額 非課売: 「0」 対象外: 「0」 完課売: 消費税金額 課売返: 消費税金額 不明 : 「0」</p>	<p>●原価科目 集計した通常転記の借方消費税を下記のとおり出力 ●売上科目 集計した通常転記の貸方消費税を下記のとおり出力 ・税込経理の場合 ○原価科目 「0」</p> <p>○売上科目 税区分 出力する金額 課税売: 「0」 非課売: 「0」 対象外: 「0」 完課売: 消費税金額 課売返: 「0」 不明 : 「0」</p> <p>・税込経理の場合 ○原価科目 「0」</p> <p>○売上科目 税区分 出力する金額 課税売: 「0」 非課売: 「0」 対象外: 「0」 完課売: 消費税金額 課売返: 「0」 不明: 「0」</p>

			<p>※「外税伝票計」は「0」(消費税は「金額」に出力される)</p> <p>○入金伝票 「0」</p> <p>○振替形式伝票の貸方 (通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 課税売:消費税金額 非課仕:「0」 非課売:「0」 対象外:「0」 完課仕:「0」 完課売:「0」 課仕返:消費税金額 課売返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」</p> <p>(完成振替後の通常転記) 税区分 出力する金額 課税仕:消費税金額 課税売:消費税金額 非課仕:「0」 非課売:「0」 対象外:「0」 完課仕:消費税金額 完課売:消費税金額 課仕返:消費税金額 課売返:消費税金額 不明 :「0」 立替仕:「0」</p>		
38	摘要	40	文字	<p>●基本設定 > 通常転記「摘要転記内容」の選択項目が転記される</p> <p>●各項目間には半角スペースが入る</p> <p>●合計転記も明細転記の設定に従うが、「伝票番号」「商品」「仕様」は出力しない</p>	<p>●基本設定 > 完成振替「摘要転記内容」の選択項目が転記される</p> <p>●各項目間には半角スペースが入る</p> <p>●40桁を超えた場合は「転記画面の伝票摘要」の文字数を少なく転記する</p>

C-3 勘定奉行V10/V11

■セグメント1(工事)

順	項目名	桁数 (半角)	型	データの出力内容
1	セグメント1 コード	20	文字	環境設定の「工事コード桁数」、転記設定の「枝番を出力する」オプションに従う ・枝番を出力する:ON 工事コード左より環境設定の工事コード桁数分(最大8桁)に「-」を追加し工事コード枝番 2桁出力 ・枝番を出力する:OFF 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分出力
2	セグメント1名称	40	文字	「工事名称」左より40桁出力

■セグメント2(工事)

順	項目名	桁数 (半角)	型	データの出力内容
1	セグメント2 コード	20	文字	環境設定の「工事コード桁数」、転記設定の「枝番を出力する」オプションに従う ・枝番を出力する:ON 工事コード左より環境設定の工事コード桁数分(最大8桁)に「-」を追加し工事コード枝番 2桁出力 ・枝番を出力する:OFF 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分出力
2	セグメント2名称	40	文字	「工事名称」左より40桁出力

C-4 勘定奉行V10/V11[個別原価管理編]

■プロジェクト(工事)

順	項目名	桁数 (半角)	型	データの出力内容
1	プロジェクト区切	1	文字	「*」を出力
2	プロジェクトコード	20	文字	環境設定の「工事コード桁数」、転記設定の「枝番を出力する」オプションに従う ・枝番を出力する:ON 工事コード左より環境設定の工事コード桁数分に「-」を追加し工事コード枝番2桁出力 ・枝番を出力する:OFF 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分出力
3	プロジェクト名	100	文字	「工事名称」
4	プロジェクト略称	60	文字	「工事略称」
5	用途区分	1	数字	「0」を出力(通常)
6	完成時の処理	1	数字	「0」を出力(製造原価)
7	売上高の計上方法	1	数字	0:「計上基準」→「完成基準」 1:「計上基準」→「進行基準」
8	完成区分	1	数字	0:「完成」チェックOFF 1:「完成」チェックON
9	進捗率	3	数字	「進捗率」
10	完成日	11	文字	完成:「進捗」→「日付」を出力
11	予定期間(開始)	11	文字	「工事日程」→「着工日(予定)」、空白の場合「受注日」を出力
12	予定期間(終了)	11	文字	「工事日程」→「竣工日(予定)」、空白の場合「受注日」を出力
13	請負日付	11	文字	「請負金額」→「契約日付(1行目)」を出力
14	請負区分	1	数字	「0」を出力(売上)
15	税抜金額	13	数字	「請負金額」合計
16	消費税額	13	数字	「請負金額消費税」合計
17	基準値を使用する	1	数字	「1」を出力(使用する)
18	取引先コード	13	文字	「得意先」の転記先に登録した「取引先コード」

■取引先(仕入先、得意先)

順	項目名	桁数 (半角)	型	データの出力内容
1	取引先コード	13	文字	「仕入先」または「得意先」の転記先に登録した取引先コード
2	取引先フリガナ	60	文字	「仕入先」または「得意先」のフリガナ
3	取引先名1	60	文字	「仕入先」または「得意先」の「名称1」
4	取引先名2	40	文字	「仕入先」または「得意先」の「名称2」
5	郵便番号	10	文字	「仕入先」または「得意先」の「郵便番号」
6	住所1	60	文字	「仕入先」または「得意先」の「住所1」
7	住所2	60	文字	「仕入先」または「得意先」の「住所2」
8	電話番号	20	文字	「仕入先」または「得意先」の「TEL」
9	FAX番号	20	文字	「仕入先」または「得意先」の「FAX」
10	メモ1	40	文字	「仕入先」または「得意先」の備考

C-5 勘定奉行V10/V11[建設業編]

■工事

順	項目名	桁数 (半角)	型	データの出力内容
1	プロジェクト区切	1	文字	「*」を出力
2	プロジェクトコード	20	文字	環境設定の「工事コード桁数」、転記設定の「枝番を出力する」オプションに従う ・枝番を出力する:ON 工事コード左より環境設定の工事コード桁数分に「-」を追加し工事コード枝番2桁出力 ・枝番を出力する:OFF 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分出力
3	プロジェクト名	100	文字	「工事名称」
4	プロジェクト略称	60	文字	「工事略称」
5	用途区分	1	数字	「0」を出力(通常)
6	工事場所	60	文字	「工事場所」
7	都道府県	4	文字	「工事経歴書」→「都道府県」
8	市区町村	12	文字	「工事経歴書」→「市区町村」
9	発注者コード	20	文字	「得意先コード」
10	配置技術者コード	10	文字	「工事経歴書」→「配置技術者コード」
11	技術者区分	1	数字	「工事経歴書」→「配置技術者」 0:主任技術者 1:監視技術者 2:該当しない
12	元請または下請	1	数字	「受注区分」 1:下請 0:元請
13	JV	1	数字	「工事経歴書」→「JV」 OFF 1:「共同企業体」チェックON 0:「単一企業」チェック
14	坪数	15	数字	「坪数」
15	m ³	15	数字	「m ³ 」
16	完成時の処理	1	数字	「0」を出力(製造原価)
17	売上高の計上方法	1	数字	0:「計上基準」→「完成基準」 1:「計上基準」→「進行基準」
18	完成区分	1	数字	0:「完成」チェックOFF 1:「完成」チェックON
19	進捗率	3	数字	「進捗率」
20	完成日	11	文字	完成:「進捗」→「日付」を出力
21	予定期間(開始)	11	文字	「工事日程」→「着工日(予定)」、空白の場合「受注日」を出力
22	予定期間(終了)	11	文字	「工事日程」→「竣工日(予定)」、空白の場合「受注日」を出力
23	請負日付	11	文字	「請負金額」→「契約日付(1行目)」を出力
24	請負区分	1	数字	「0」を出力(売上)
25	税抜金額	13	数字	「請負金額」合計
26	消費税額	13	数字	「請負金額消費税」合計
27	基準値を使用する	1	数字	「1」を出力(使用する)
28	取引先コード	13	文字	「得意先」の転記先に登録した「取引先コード」

■取引先(仕入先、得意先)

順	項目名	桁数 (半角)	型	データの出力内容
1	取引先コード	13	文字	「仕入先」または「得意先」の転記先に登録した取引先コード
2	取引先フリガナ	60	文字	「仕入先」または「得意先」のフリガナ
3	取引先名1	60	文字	「仕入先」または「得意先」の「名称1」
4	取引先名2	40	文字	「仕入先」または「得意先」の「名称2」
5	郵便番号	10	文字	「仕入先」または「得意先」の「郵便番号」
6	住所1	60	文字	「仕入先」または「得意先」の「住所1」
7	住所2	60	文字	「仕入先」または「得意先」の「住所2」
8	電話番号	20	文字	「仕入先」または「得意先」の「TEL」
9	FAX番号	20	文字	「仕入先」または「得意先」の「FAX」
10	メモ1	40	文字	「仕入先」または「得意先」の備考

■発注者(得意先)

順	項目名	桁数 (半角)	型	データの出力内容
1	発注者コード	13	文字	「得意先」コード
2	発注者フリガナ	60	文字	「得意先」のフリガナ
3	発注者名1	60	文字	「得意先」の「名称1」
4	発注者名2	40	文字	「得意先」の「名称2」
5	郵便番号	10	文字	「得意先」の「郵便番号」
6	住所1	60	文字	「得意先」の「住所1」
7	住所2	60	文字	「得意先」の「住所2」
8	電話番号	20	文字	「得意先」の「TEL」
9	FAX番号	20	文字	「得意先」の「FAX」
10	メモ1	40	文字	「得意先」の備考

C-6 勘定奉行i10/i11/クラウド

■取引先(仕入先、得意先)

順	項目名	桁数 (半角)	型	データの出力内容
1	取引先コード	13	文字	「仕入先」または「得意先」の転記先に登録した取引先コード
2	取引先フリガナ	14	文字	「仕入先」または「得意先」のフリガナ
3	取引先名1	32	文字	「仕入先」または「得意先」の「名称1」左より32桁出力
4	取引先名2	24	文字	「仕入先」または「得意先」の「名称2」
5	郵便番号	10	文字	「仕入先」または「得意先」の「郵便番号」
6	住所1	40	文字	「仕入先」または「得意先」の「住所1」
7	住所2	40	文字	「仕入先」または「得意先」の「住所2」
8	電話番号	16	文字	「仕入先」または「得意先」の「TEL」
9	FAX番号	16	文字	「仕入先」または「得意先」の「FAX」
10	メモ1	40	文字	「仕入先」または「得意先」の備考

C-7 勘定奉行i10/i11/クラウド[個別原価管理編]

■プロジェクト(工事)

順	項目名	桁数 (半角)	型	データの出力内容
1	プロジェクト区切	1	文字	「*」を出力
2	プロジェクトコード	11	文字	環境設定の「工事コード桁数」、転記設定の「枝番を出力する」オプションに従う ・枝番を出力する:ON 工事コード左より環境設定の工事コード桁数分(最大8桁)に「-」を追加し工事コード枝番2桁出力 ・枝番を出力する:OFF 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分出力
3	プロジェクト名	50	文字	「工事名称」左より50桁出力
4	プロジェクト略称	16	文字	「工事略称」
5	用途区分	1	数字	「0」を出力(通常)
6	完成時の処理	1	数字	「0」を出力(製造原価)
7	売上高の計上方法	1	数字	0:「計上基準」→「完成基準」 1:「計上基準」→「進行基準」
8	完成区分	1	数字	0:「完成」チェックOFF 1:「完成」チェックON
9	進捗率	3	数字	「進捗率」
10	完成日	11	文字	完成:「進捗」→「日付」を出力
11	予定期間(開始)	11	文字	「工事日程」→「着工日(予定)」、空白の場合「受注日」を出力
12	予定期間(終了)	11	文字	「工事日程」→「竣工日(予定)」、空白の場合「受注日」を出力
13	請負日付	11	文字	「請負金額」→「契約日付(1行目)」を出力
14	請負区分	1	数字	「0」を出力(売上)
15	税抜金額	13	数字	「請負金額」合計
16	消費税額	13	数字	「請負金額消費税」合計
17	基準値を使用する	1	数字	「1」を出力(使用する)
18	取引先コード	13	文字	「得意先」の転記先に登録した「取引先コード」

■取引先(仕入先、得意先)

順	項目名	桁数 (半角)	型	データの出力内容
1	取引先コード	13	文字	「仕入先」または「得意先」の転記先に登録した取引先コード
2	取引先フリガナ	14	文字	「仕入先」または「得意先」のフリガナ
3	取引先名1	32	文字	「仕入先」または「得意先」の「名称1」左より32桁出力
4	取引先名2	24	文字	「仕入先」または「得意先」の「名称2」
5	郵便番号	10	文字	「仕入先」または「得意先」の「郵便番号」
6	住所1	40	文字	「仕入先」または「得意先」の「住所1」
7	住所2	40	文字	「仕入先」または「得意先」の「住所2」
8	電話番号	16	文字	「仕入先」または「得意先」の「TEL」
9	FAX番号	16	文字	「仕入先」または「得意先」の「FAX」
10	メモ1	40	文字	「仕入先」または「得意先」の備考

C-8 勘定奉行i10/i11/クラウド[建設業編]

■工事

順	項目名	桁数 (半角)	型	データの出力内容
1	工事区切	1	文字	「*」を出力
2	工事コード	11	文字	環境設定の「工事コード桁数」、転記設定の「枝番を出力する」オプションに従う ・枝番を出力する:ON 工事コード左より環境設定の工事コード桁数分に「-」を追加し工事コード枝番2桁出力 ・枝番を出力する:OFF 明細行の工事コード左より環境設定の工事コード桁数分出力
3	工事名	100	文字	「工事名称」
4	工事略称	60	文字	「工事略称」
5	用途区分	1	数字	「0」を出力(通常)
6	工事場所	60	文字	「工事場所」
7	都道府県	4	文字	「工事経歴書」→「都道府県」
8	市区町村	12	文字	「工事経歴書」→「市区町村」
9	発注者コード	20	文字	「得意先コード」
10	配置技術者コード	10	文字	「工事経歴書」→「配置技術者コード」
11	技術者区分	1	数字	「工事経歴書」→「配置技術者」 0:主任技術者 1:監視技術者 2:該当しない
12	元請または下請	1	数字	「受注区分」 0:元請、1:下請
13	JV	1	数字	「工事経歴書」→「JV」 0:「単一企業」チェックOFF 1:「共同企業体」チェックON
14	坪数	15	数字	「坪数」
15	m ²	15	数字	「m ² 」
16	完成時の処理	1	数字	「0」を出力(完成工事原価)
17	完成工事高の計上方法	1	数字	0:「計上基準」→「完成基準」 1:「計上基準」→「進行基準」
18	完成区分	1	数字	0:「完成」チェックOFF 1:「完成」チェックON
19	進捗率	3	数字	「進捗率」
20	完成日	11	文字	完成:「進捗」→「日付」を出力
21	予定期間(開始)	11	文字	「工事日程」→「着工日(予定)」、空白の場合「受注日」を出力
22	予定期間(終了)	11	文字	「工事日程」→「竣工日(予定)」、空白の場合「受注日」を出力
23	請負日付	11	文字	「請負金額」→「契約日付(1行目)」を出力
24	請負区分	1	数字	「0」を出力(売上)
25	税抜金額	13	数字	「請負金額」合計
26	消費税額	13	数字	「請負金額消費税」合計
27	基準値を使用する	1	数字	「1」を出力(使用する)
28	取引先コード	13	文字	「得意先」の転記先に登録した「取引先コード」

■取引先(仕入先、得意先)

順	項目名	桁数 (半角)	型	データの出力内容
1	取引先コード	13	文字	「仕入先」または「得意先」の転記先に登録した取引先コード
2	取引先フリガナ	14	文字	「仕入先」または「得意先」のフリガナ
3	取引先名1	32	文字	「仕入先」または「得意先」の「名称1」左より32桁出力
4	取引先名2	24	文字	「仕入先」または「得意先」の「名称2」
5	郵便番号	10	文字	「仕入先」または「得意先」の「郵便番号」
6	住所1	40	文字	「仕入先」または「得意先」の「住所1」
7	住所2	40	文字	「仕入先」または「得意先」の「住所2」
8	電話番号	16	文字	「仕入先」または「得意先」の「TEL」
9	FAX番号	16	文字	「仕入先」または「得意先」の「FAX」
10	メモ1	40	文字	「仕入先」または「得意先」の備考

■発注者(得意先)

順	項目名	桁数 (半角)	型	データの出力内容
1	発注者コード	13	文字	「得意先」コード
2	発注者フリガナ	14	文字	「得意先」のフリガナ
3	発注者名1	32	文字	「得意先」の「名称1」左より32桁出力
4	発注者名2	24	文字	「得意先」の「名称2」
5	郵便番号	10	文字	「得意先」の「郵便番号」
6	住所1	40	文字	「得意先」の「住所1」
7	住所2	40	文字	「得意先」の「住所2」
8	電話番号	16	文字	「得意先」の「TEL」
9	FAX番号	16	文字	「得意先」の「FAX」
10	メモ1	40	文字	「得意先」の備考

転記単位「仕入先別」「得意先別」の追加

<概要>

転記単位に「仕入先別」「得意先別」を追加しました。
これを選択した場合は下記の基準で仕入先/得意先別に合計転記されます。

伝票番号:伝票種類ごとに1伝票番号を付番。
250行を超えた場合は別伝票を作成し、同じ番号を付番。

集計順 :伝票種類→仕入先/得意先→科目→仕入先部門/得意先部門→
部門(明細)→(建設奉行の場合のみ工種)→税区分

転記日付:期間指定の最終日
(ただし「同一日付指定」をしている場合は同一日付優先)

工事 :[個別原価管理編]、[建設業編]の場合「その他工事」の変換コードを出力。

伝票種類	転記単位	転記処理区分	伝票	第2区分	承認
仕入伝票	明細	する	含む	指定なし	指定なし
支払伝票	明細	しない	含む	指定なし	指定なし
査定作成伝票	明細	しない	含む	指定なし	指定なし
売上伝票	明細	しない	含む	指定なし	指定なし
入金伝票	明細	しない	含む	指定なし	指定なし
入金伝票振替	明細	しない	含む	指定なし	指定なし

工事情報出力「親工事」出力用オプションの追加

<勘定奉行V10/V11[建設業編]、勘定奉行i10/i11[建設業編]のみ>

<概要>

工事情報出力の工事データの出力に「親工事」を出力するためのオプションを追加しました。

- ・「親工事」の情報を出力する
ON=出力したデータに、判定方法の設定に応じた親工事を出力します。
OFF=親工事を出力しません。

- ・「親工事」の判定方法
枝番:10桁の親番号が同じ工事コードの中で、2桁の枝番が一番小さいコードを親番号として出力。
※工事コード枝番の出力については、転記設定の「枝番を出力する」の設定が反映されます。

グループ:工事登録のグループに入力した内容を親番号として出力。

<出力例>

工事登録		「親工事」の判定方法	
工事コード	グループ	枝番	グループ
12345-00		(空白)	(空白)
12345-01	ABC	12345-00	ABC
67890-02	DEF	(空白)	DEF
67890-03		67890-02	(空白)

レッツ原価管理Go! 仕訳伝票転記(OBC) 訂正表

「レッツ原価管理Go!」をご利用くださいますと、誠にありがとうございます。
本マニュアルに一部訂正・追加がございますので、謹んで次のとおり訂正いたします。

ページ	場所	誤	正
全般	■借方税率区分コード (通常転記、完成振替)	●空白	●転記設定の税率区分に従い出力 消費税を出力する税区分の場合に税率区分を出力
	■貸方税率区分コード (通常転記、完成振替)	●空白	●転記設定の税率区分に従い出力 消費税を出力する税区分の場合に税率区分を出力
	■伝票部門コード (通常転記、完成振替)	●空白	<勘定奉行21、建設奉行21、勘定奉行21[個別原価管理編]を除く> ●転記設定の「伝票部門にユーザー部門を出力する」オプションに従う ○ユーザー部門を出力する:ON 各伝票の最終登録者のユーザー部門を出力。 ○ユーザー部門を出力する:OFF 空白
27	内容	下記KN01~KN14より適当な記号を設定します。	下記KN01~KN16より適当な記号を設定します。
		(記載追加)	●KN15 = [残業予備4]時間 ●KN16 = [残業予備5]時間